

2026年10月
～ 2027年3月
秋冬版

祈りの回廊

飛鳥・藤原でつながる
奈良の世界遺産

み仏をまなざす人

心安らぐひととき 奈良旅泊

「特別講話」

石上神宮

宮司道上昌幸氏

春岳院

住職藪中真弘師

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

奈良の世界遺産

飛鳥・藤原でつながる



奈良県が「日本で一番
世界遺産が多い県」に

2026年7月26日、「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産に登録され、奈良県は都道府県別で最多となる四つの世界遺産を有することとなりました。

飛鳥・藤原が栄えた6世紀末から8世紀初頭にかけては、日本の古代国家や都、仏教文化が形づくられていった時代です。その歴史をたどると、奈良県内にあるほかの世界遺産との深い結びつきが見え、飛鳥時代から奈良時代へと、社会や文化が移り変わっていく過程も浮かび上がります。

法隆寺にゆかりのある聖徳太子と「法隆寺地域の仏教建造物」、修験道の祖とされる役行者と「紀伊山地の霊場と参詣道」、そして藤原京から平城京へ都を移した元明天皇と「古都奈良の文化財」。それぞれの地域や遺産は、独立して存在しているのではなく、人の往来や信仰、政治、文化の流れによって結ばれています。

本特集では、「飛鳥・藤原」の構成資産と、奈良県内にある他の三つの世界遺産との「つながり」を紹介します。現地を訪ねる前にその関係を知れば、一つの社寺や史跡を通じて、飛鳥時代から奈良時代へと受け継がれた歴史が見えてくるはずです。

法隆寺地域の仏教建造物

(斑鳩 いかるが)

法隆寺地域の仏教建造物は、1993年、姫路城とともに日本で最初に世界文化遺産に登録されました。聖徳太子ゆかりの法隆寺と法起寺に所在する48棟の建造物からなり、法隆寺西院伽藍さいいんがらんの金堂や五重塔をはじめ、7世紀後半から8世紀初頭にさかのぼる建物は、世界最古級の木造建築群として知られています。『日本書紀』には670年に創建法隆寺が焼失したことが記され、現在の西院伽藍は、その後8世紀始め頃までに再建され

たものと考えられています。日本における初期の仏教建築の姿を今に伝える、貴重な文化財群です。

法隆寺を生み出した時代の政治と文化の中心は、飛鳥にありました。飛鳥・藤原の時代、仏教は国づくりの重要な柱とされ、飛鳥の地には次々と寺院が建立されていきます。その仏教興隆を担った人物のひとり、聖徳太子でした。



つながる
人物

聖徳太子 うまやどの おうじ (厩戸皇子)

推古天皇の摂政として、飛鳥時代に仏教興隆を進めたのが聖徳太子です。冠位十二階の制定や遣隋使の派遣などに関わり、十七条憲法を定めたと伝えられています。601年に斑鳩宮を造営し、607年ごろには法隆寺の前身にあたる若草伽藍が完成したとされ、飛鳥で育まれた仏教文化を斑鳩へと広げました。



法隆寺

橘寺から法隆寺へ 運ばれた仏たち

11世紀後半の法隆寺金堂の仏像を記録した『金堂日記』には、承暦2年(1078)、橘寺から小仏49躯が法隆寺へ移されたことが記されています。現存する仏像のうち、どれが橘寺旧蔵であったかはすべて特定されていませんが、明治時代に法隆寺から皇室へ献納され、現在は東京国立博物館に伝わる小金銅仏群「四十八体仏」に、その一部が含まれる見方があります。橘寺と法隆寺の間で、実際に仏像が移されたことを伝える貴重な記録です。

つながる
道



太子道・筋違道 すじかいみち

伝承では、聖徳太子は愛馬・黒駒に乗り、従者の調子丸を伴って、住まいの斑鳩宮と推古天皇の宮殿のある飛鳥の小墾田宮おほりだのみやを往来したとされます。斑鳩と飛鳥を斜めに結ぶこの古道は、奈良盆地の条里に対して斜めに延びることから「筋違道」、また「太子道」と呼ばれています。

つながる
構成資産



橘寺 (明日香村)

現在の本堂(太子殿)は1864年の再建です。本尊の聖徳太子坐像(重要文化財)は推古天皇の命を受け、606年に勝鬘經しょうまんぎょうの講義をされた太子35歳の姿と伝わり、今も太子信仰の場として参拝が続いています。

紀伊山地の霊場と参詣道（吉野・大峯）

紀伊山地の霊場と参詣道は、2004年に登録された世界遺産で、吉野・大峯、熊野三山、高野山という三つの霊場と、それらを結ぶ参詣道からなります。自然崇拜を基層に神道と仏教が融合した独自の信仰文化が息つき、三つの霊場だけでなく、人々が実際に歩いてきた参詣道そのものも構成資産となっている点に、大きな特徴があります。

は、自然を神聖視する信仰が育まれています。性格の異なる二つの地域でしたが、同じ大和の中であり、人々の往来によって結ばれていました。

奈良県内では、霊場「吉野・大峯」と大峯奥駈道、熊野参詣道小辺路が構成資産となり、金峯山寺や大峰山寺を中心に、今も修験道の修行の場として多くの人が訪れています。

飛鳥・藤原で律令国家の宮都が整えられていく一方、吉野の山々で

古都奈良の文化財（奈良）

古都奈良の文化財は、1998年に登録された世界遺産で、東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡の資産からなります。



つながる人物



東大寺大仏殿



金峯山寺蔵王堂

えんのぎょうじゃ 役行者

葛城山を拠点に修行したと伝わる役行者は、後世、修験道の祖と仰がれました。伝承では大峯山で蔵王権現を感得し、大峯の山々を修行の場として開いたとされます。『続日本紀』には、699年、役行者に師事した呪術者で、のちに典薬頭（※1）となった韓国連広足の訴えにより、伊豆島へ配流されたことが記されています。

（※1）朝廷の医療、薬事や呪術を担った役所「典薬寮」の長官

同じ時代、記録に残ったふたつの出来事

飛鳥・藤原の構成資産と吉野・大峯との間には、物や建物の移動という形で確認できる直接的なつながりは多くありません。しかし、役行者が配流された頃とほぼ同じ時期に、現在の吉野水分神社につながる水分信仰も記録に姿を現します。文武天皇2年（698）、雨乞いのため「芳野水分峰神」に馬を奉ったという記事です。藤原京が政治の中心として機能していた時代に、吉野の山でも、水をつかさどる神への信仰が営まれていたことが分かります。

つながる道



芋ヶ峠

671年、大海人皇子（後の天武天皇）は、鸕野讃良皇女（後の持統天皇）らとともに、飛鳥の嶋宮を経て吉野へ向かいました。その経路として有力視されているのが、飛鳥と吉野を結ぶ代表的な峠道、芋ヶ峠越えです。持統天皇も在位中に31回吉野へ行幸しており、芋ヶ峠はその往来を支えた道の一つと考えられています。

つながる人物



げん めい 元明天皇

707年、藤原宮で即位した元明天皇は、翌708年に平城遷都の詔を出し、710年に都を平城京へ移しました。政治の中心が新都に移り、主要な寺院も段階的に平城京へ移転・造営されました。その後、孫にあたる聖武天皇の時代には、東大寺の造営をはじめ、天平文化が花開きました。

政治制度や都市計画が受け継がれ、寺院では法統が継承され、伽藍もそれまでの形式を受け継ぎながら、奈良時代にさらに発展していきます。その一方で、瓦や仏像など、実際に新しい都や寺院へ運ばれたものもありました。

710年に遷都された平城京を舞台に、遣唐使などを通じてもたらされた大陸文化と、仏教による鎮護国家の思想が花開いた、奈良時代の政治と文化を今に伝える文化財です。

つながる道

かみ なか しも 上ツ道・中ツ道・下ツ道

奈良盆地には、上ツ道・中ツ道・下ツ道という三本の古代幹線道路が南北に通っていました。このうち下ツ道は、藤原京域では西四坊大路として都の中に取り込まれ、北へ延びて平城京の朱雀大路につながりました。古くからの道路の軸線が、二つの都の都市計画に生かされたのです。



つながる構成資産



藤原宮跡→平城宮跡

694年、持統天皇が飛鳥浄御原宮から遷宮した宮殿跡です。約1キロ四方の宮内には、天皇の居住区や、政務・儀式の場、役所が集約されていました。藤原宮で整えられた宮城の構造や造営技術は、平城宮へと受け継がれていきます。



もと 本薬師寺跡→薬師寺

天武天皇が、皇后であった鸕野讃良皇女（後の持統天皇）の病氣平癒を願って建立を発願した寺院跡です。金堂の前に東西二つの塔を置く伽藍配置は、平城京の薬師寺にも踏襲され、堂塔の規模にも多くの共通点があります。



飛鳥寺→元興寺

596年、蘇我馬子の発願により完成した、日本最初の本格的仏教寺院です。平城遷都後、飛鳥寺は本元興寺と称されるようになり、平城京には新たに元興寺が造営され、飛鳥寺の一部の資材が受け継がれました。



だいかん だいじ 大官大寺跡→大安寺

寺伝では聖徳太子の熊凝精舎を起源とし、舒明天皇の百濟大寺・高市大寺を経て大官大寺となりました。現在の遺跡は文武天皇の時代に国家鎮護の寺として藤原京内へ造営され、平城遷都後、その役割は大安寺に受け継がれました。

飛鳥から奈良へ、運ばれたもの・受け継がれたもの

飛鳥・藤原から次の時代へ継承されたのは、思想や制度だけではなく、瓦や仏像など、建築技術や造営計画も、新たな都や寺院へと伝えられました。

元興寺極楽堂と禅室の屋根には、飛鳥寺の創建期にさかのぼる古瓦が、今も使われています。また、山田寺講堂の本尊だった薬師三尊像は、1187年に興福寺へ移されました。その後、1411年の火災で中尊の頭部だけが残る、

現在は国宝「仏頭」として興福寺国宝館に伝えられています。

一方、平城宮の正門・朱雀門跡から出土した軒瓦の9割以上は、藤原宮で用いられたものと同じ形式の「藤原宮式軒瓦」でした。すべてが藤原宮から運ばれたとは断定できませんが、二つの宮都の建築文化の継承を示す手がかりになると考えられます。

人ぞなまを仏み

明治から昭和、そして現代へ。奈良の仏像を撮り続けてきた写真家たちの系譜を辿ります。

また、「奈良大和路仏像ポスター」の新作を撮影し、「祈りの回廊」表紙も手がけた三好和義さんに、奈良の仏像を撮ることについてお話を伺いました。

土門 拳 どもん けん 1909
1990

山形・酒田市生まれ。日本工房で報道・対外宣伝写真家として携わる。昭和14年（1939）に室生寺を初めて訪れて以来、古寺仏像の撮影を生涯のテーマとした。仏像の手足や、面相、建築の細部を大胆にクローズアップする徹底したリアリズムで対象の本質に迫った。脳出血で倒れ、車椅子生活となった後も撮影を継続し、悲願の雪の室生寺をついに撮れたのは初訪問から40年目のことだった。写真集『古寺巡礼』全五集を完結させ、古寺・仏像写真に新たな表現を拓いた。

工藤 利三郎 くどう りさぶろう 1848
1929

徳島市生まれ。警察官として西南戦争に従軍した後、古画鑑賞会の写真班で古書画の撮影に携わり、写真術を身につけた。明治26年（1893）、45歳で奈良・猿沢池東畔に写真館「工藤精華堂^{せいかわどう}」を開業。法隆寺の学僧・佐伯定胤との交流を深め、古社寺保存法にかかわる指定申請用の記録写真から社寺建築や仏像を数多く撮影した。写真集『日本精華』全11巻を刊行。修理以前の姿を伝える作品も多く、文化財の研究上の価値が高い、奈良における古美術写真の草分けである。

永野 太造 ながの たぞう 1922
1990

大阪市生まれ。終戦後、奈良国立博物館東側の茶店「永野鹿鳴荘」を継ぎ、独学で写真技術を習得した。昭和27年（1952）発足の奈良国立文化財研究所の調査に同行し、社寺の仏像を撮影。また『奈良六大寺大観』にも携わる。東大寺法華堂・月光菩薩像の一枚は昭和31年（1956）「奈良大和路」ポスターに使われ、翌年の世界観光ポスター展で最優秀賞を受賞した。先達・工藤利三郎のガラス乾板の寄贈にも尽力。自身の約7千枚のガラス乾板は帝塚山大学に寄贈され、現在も研究資料として活用されている。

小川 晴暘 おがわ せいよう 1894
1960

兵庫・姫路市生まれ。奈良の仏像に感銘を受け、^{あいず}會津八一の勧めで大正11年（1922）「飛鳥園」を創業。黒い背景の中に仏像を浮かび上がらせた表現などを通じ、文化財写真に芸術性をもたらした。没後は三男・小川光三が黒バックを用いた撮影など飛鳥園スタイルと呼ばれるような仏像写真をカラーの時代へ受け継いで行った。現在、「飛鳥園」は創業100年を超えてなお奈良で仏像撮影を続け、現在も奈良を拠点に文化財撮影を続けている。



飛鳥園庭園東屋
(写真展示スペース)

📍 奈良市登大路町 59

☎ 0742-22-2872

📍 MAP P18 ㉔ d-2



入江泰吉旧居

📍 奈良市水門町 49-2

☎ 0742-27-1689

📍 MAP P18 ㉔ d-1

入江 泰吉 いりえ たいきち 1905
1992

奈良市生まれ。戦後、奈良の仏像が接収されるとの噂を耳にし、東大寺をはじめとする仏像の撮影に取り組んだ。以後生涯にわたり大和路の風景や仏像、行事を撮り続けた。端正な構図と独自の色彩表現で知られ、『古色大和路』『萬葉大和路』『花大和』の三部作で菊池寛賞を受賞。約8万点の全作品は入江泰吉記念奈良市写真美術館に収蔵され、多くの日本人が抱く奈良のイメージを形づくった。

※入江泰吉記念奈良市写真美術館（高畑町）は、改修工事のため2026年10月から入館できません。（2027年3月末までの予定）

写真家三好和義さんに聞く

奈良の仏様との時間

◆奈良との出会い、写真家への道

仏像に興味を持ったのは、小学校6年生の修学旅行で奈良を訪れた時からです。東大寺で真剣に写真を撮影している当時の自分の姿が、今も写真に残っています。

中学生になると、徳島から夜行船に乗り、一人で奈良へ通うようになりました。なかでも東大寺が好きで、法華堂で一日を過ごすこともありました。

私が写真始めた頃、写真の世界でも著名だったのは土門拳さんです。いつか土門さんのように仏像写真を撮りたいと思っていました。大学を卒業した頃、土門さんのオリジナルプリントを手に入れる機会がありました。原板から焼かれたプリントには、単なる像の記録を超えた精神性のようなものが宿っていると感じ、それを見て初めて、「こういう気持ちで撮ればいいのか」と分かった気がしました。

◆写真だからこそ見えるもの

古い写真には、作品としてだけでなく、記録としても大きな意味があります。以前、小川晴陽さんが中国で撮影した写真を現地へ持って行き、博物館の方に見せたことがあります。今の中国には残っていないものが写っている、非常に貴重な記録だと喜ばれました。

また、法隆寺の玉虫厨子たまむしのずしを撮影した時のことですが、撮影した画像を拡大すると偶

然、肉眼では見えない指紋が写っていました。調べると、戦前に厨子を屋外へ出して修復した記録があり、その当時から指紋の存在は知られていたようです。

きりぎりす 截金細工や仏像の背中に描かれた模様なども、肉眼ではほとんど見えないものが、画像のコントラストを調整すると浮かび上がることがあります。今はデジタル技術が飛躍的に進みました。現代の写真だからこそ写せるものが確かにあります。

◆時間を止める仕事、まだ撮りたいものたち

私が写真を撮り好きなのは、時間を止められるからだと思います。子どもの頃に好きだった昆虫採集も、美しいものを集めて残すという意味では、写真とよく似ています。

仏像にひかれるのも、歴史が好きだからというより、化石を好きになる感覚に近いのかもしれません。仏像には、化石と同じように、長い時間そのものがとじ込められているように感じるので。

奈良には7年間住み、毎朝、夜明けとともに東大寺へ通いました。その時期に撮影した写真は『天平の楽園』という写真集になり、東大寺本坊で展覧会も開かせていただきました。

奈良には、まだ撮りたい場所がたくさんあります。これからも奈良に通い、その時間を写真に残していきたいと思っています。

撮影：タナベコウキ



活動50周年を記念する
三好和義氏の最新写真集
『美しき日本の楽園』（小学館）
2026年12月8日発売予定
※書影は変更になる場合があります。

三好和義

写真家。1958年徳島市生まれ。
「楽園」をテーマに世界各地で撮影。近年は日本の風景に心の「楽園」を見いだす。仏像から世界遺産まで幅広く撮影。近著はB2版の大型写真集「法隆寺」（小学館）。1984年当時最年少で木村伊兵衛賞を受賞。2022～2025年の奈良大和路仏像ポスターを担当。



心安らぐひととき

奈良旅泊

歴史ある建物と、そこで紡がれてきた時間。
それぞれの場所に息づく物語を感じながら
奈良の夜時間を、宿で愉しむ贅沢を。

古代から続く薬草の町で薬草文化を体験

奈の音 (宇陀市)

『日本書紀』に「薬狩り」が行われた記録が残り、日本最古の私設薬草園「森野旧薬園」が開かれた宇陀の地。この歴史ある薬草のまちの一角に宇陀松山地区（重要伝統的建造物群保存地区指定）があり、旧増岡邸（国登録有形文化財）を生かした宿・奈の音も、ここで営まれている。薬草鍋のランチ（完全予約制）や薬草関連の催しなどディユースも魅力。



📍 宇陀市大宇陀西山 91
☎ 050-7117-7558
📍 MAP P21 b-2



姉妹店主が営む旅人もまちの人も過ごす宿

natomi 宿 (生駒市)

かつて平城京と難波を結んだ暗越奈良街道、江戸時代は伊勢参宮道としても賑わいを見せたこの道中にある集落に、旅好きの姉妹が宿を開業した。元は鍛冶屋だった古民家を、個室・ドミトリー・大部屋の3タイプの客室を備えたゲストハウスにリノベーション。マルシェや週末のランチ&居酒屋営業など、旅人と地域住民がともに楽しめる企画も開催。



📍 生駒市小瀬町 470
☎ 080-2017-4140
📍 MAP P20 a-2



若草山麓での朝食ピクニックも選べます

古都の宿 むさし野 (奈良市)

若草山麓まで徒歩10秒。江戸時代の『奈良町奉行日記』に「若草山から下りてきてむさし野という茶屋で休んだ」との記述が残る老舗。ロビーに掲げられた書「武蔵野楼」は剣術家であり禅と書の達人であった山岡鉄舟の揮毫、谷崎潤一郎『吉野葛』では「むさし野で待ち合わせをした」という一文を見ることができるなど文人墨客に愛された宿。



📍 奈良市春日野町 90
☎ 0742-22-2739
📍 MAP P18 d-2



ならまちにある聖武天皇勅願の古刹の宿坊へ

璉城寺 (奈良市)

聖武天皇の勅願により行基菩薩が開いたという璉城寺。その境内に近年宿坊が開かれた。昭和時代の民家建築をなるべくそのままにリノベーションした宿坊／ゲストハウスは、照明器具や水屋、建具などの趣きも相まってどこか懐かしく穏やかな時間を過ごせる。同寺は、別名を「紀寺」といい、このあたりの地名「紀寺」とともに今に伝えられている。



📍 奈良市西紀寺町 45
☎ 0742-22-4887
📍 MAP P18 c-2



飛鳥寺旧境内・飛鳥坐神社参道筋で泊まる

ブランシエラ ヴィラ 明日香 (高市郡明日香村)

明日香村で世界遺産登録された日本初の本格的伽藍配置を持つ飛鳥寺跡（国指定史跡）。そこに建つ築150余年の煙出しや細格子が美しい古民家（国登録有形文化財）で風情あふれる滞在を楽しめる。信楽焼の浴槽を備えた二つの客室や中庭を設けた宿は素泊りも可能、地元の名店「めんどや」からの郷土食「飛鳥鍋」をお届けする夕食付プランも良い。



📍 高市郡明日香村飛鳥 660
☎ 06-6203-2565
📍 MAP P19 a-2





奈良ホテル（奈良市）

日本の皇族や世界各国の著名人が宿泊してきた奈良ホテル。瓦葺きで桃山御殿風檜造りの威風堂々とした建築は、東京駅や日本銀行本店などで知られる建築家であり工学博士の辰野金吾によるもので「関西の迎賓館」と呼ばれた。このたび西館の大規模改装を行い、清澄悠然をコンセプトに2026年秋待望のリニューアルオープン。

📍 奈良市高畑町 1096
☎ 0570-66-6088（ナビダイヤル）
📍 MAP P18 A c-2



大峯山麓の創業約 300 年の宿で温泉を堪能

光緑園 西清（吉野郡天川村）

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部「大峯奥駈道」で修行する山伏たちを迎え続けてきた洞川温泉郷。その中の一軒・光緑園 西清は、数寄屋造りの建物に大きな布袋尊の像がある庭園、川魚に名水とうふといった地の食材を生かした料理が特長の老舗だ。弱アルカリの泉質で疲労回復などに効果があるとされる湯を露天風呂などで楽しめる。



📍 吉野郡天川村洞川 257
☎ 0747-64-0306
📍 MAP P21 奈良県地図



中庭は二階にあります。吉野建の山の宿

朝日館（吉野郡川上村）

吉野大峯山系の入り口で登山客などを迎え入れること約140年。アウトドアの拠点として長年支持され、朝ごはんには提供される「おくどさん」で炊いたごはんも人気の山の宿だ。傾斜地を利用した「吉野建」の美しい建築にも注目したい。大正期の趣が残る建具やタイルの意匠と、地元作家の吉野杉・檜の作品が共生する館内から眺める庭の風情も格別。



📍 吉野郡川上村柏木 154
☎ 0746-54-0020
📍 MAP P21 奈良県地図



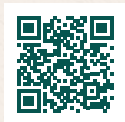
「醤油蔵」と「万年筆本舗」だったそれぞれの歴史を生かし再構築した2つのホテル

蘊 奈良 万年筆本舗（御所市）

葛城山の麓、江戸時代から変わらぬ街並みを有する「御所まち」に佇む、大正創業の万年筆本舗を改修した古民家宿。万年筆工房であった歴史に倣い、各部屋に万年筆と便箋が用意されており、大切な誰かを想いながら手紙をしたためる心静かな時間を過ごせる。



📍 御所市西町 1069
☎ 0745-49-0823
📍 MAP P20 G b-2



蘊 奈良 マルト醤油（磯城郡田原本町）

築130～140年の“大和棟”と呼ばれる奈良の伝統建築様式の蔵をリノベーションし「泊まれる醤油蔵」として2020年にオープン。個性的な7つの客室を持つ。地元原材料を用いた醤油造りが70年ぶりに再開され、それを生かしたレストラン運営、近隣の村屋神社への朝参り体験を提案するなど、地域性あるコンテンツ展開が高く評価されている。



📍 磯城郡田原本町伊与戸 170
☎ 0744-32-2064
📍 MAP P21 奈良県地図



祈りの回廊



いそのかみじんぐう みちかみまさゆき
石上神宮 宮司 道上昌幸氏

2023年から石上神宮宮司を務める。神剣「フツノミタマ」顕現150年記念での「御本殿と禁足地」特別参拝や、国宝「七支刀」の検査を行うなど同宮の環境や宝物を次世代へ伝える取り組みを行う。



神様が二千年おわす場に触れて 心のリセットを

石上神宮のご由緒などについて
教えてください。

今から二千年余り前、第十代崇神天皇七年に石上布留の高庭に神様をお祀りしたのが始まりです。御祭神は「布都御魂大神」と「布留御魂大神」と「布都斯魂大神」。「布都御魂大神」は起死回生のお力のある剣「神剣師霊」という神武東征伝説に登場する剣に宿られる神様です。「布留御魂大神」は人の命を守る、活性化させるという力を秘めた神宝「天璽十種瑞宝」に宿る神様です。「布都斯魂大神」は「古事記」などに記される八岐大蛇を退治した剣「天十握剣」に宿る神様です。

奈良においても非常に長く、独自の歴史を持つお社かと存じます。こちらで20年奉職して宮司となりましたが、今まで私たちの先輩であるとか先人、地域の方々がこの神社を支え、守り伝えてくださった現在のところ、

ております。境内の環境などの雰囲気そのまますと後世に伝え、例えば10年後に再びお詣りくださった方が「変わらないね、懐かしいね」と感じてくださるお宮でありたいなど。それから実は石上神宮は地域密着な社でして、近隣の村々一つ一つにそれぞれ神社があり、合わせて40社以上になるのですが、年間で大きな3つのお祭り（※1）には、当宮から各社に伺います。そのほかの機会でも地域の皆様との交流が続いていて本当に親しくさせていただいています。奈良のそうした素朴さも大切にしたいですね。

とても身近な存在に思えてまいりました。神社の参道は木のトンネルのようになっていて、そこにはやわらかい木漏れ日が差していたり爽やかな風が吹いていたりしますよね。わたしは神道はそうやって五感で感じる宗教だと



📍 天理市布留町 384
MAP [P19 B a-1](#)
☎ 0743-62-0900
🚶 JR・近鉄天理駅から徒歩約30分
<https://www.isonokami.jp/>

思っています。「お祓い」を非常に大切にしますが、それを今の言葉で表すとすれば「心のリセット」になるでしょうか。生きているうちに重ね着のように積もった思いを脱ぎ捨てて、また新たな神様の力に触れさせていただく。石上神宮は二千年以上神様がお住まいになる深い森の中にあります。人間の小手先でどうにかできるものではない空気を感しながらお詣りしていただきたいと思います。我々も地域の皆様とともに、守り伝えられてきた環境を損なうことなく次世代に手渡せるように努めて参りたいと思っています。

（※1）祈年祭・例祭・新嘗祭



WEBで
ダイジェスト
ムービーが
見れます！



WEBで
ダイジェスト
ムービーが
見れます！

奈良県観光プロモーション 公式YouTubeチャンネルで、特別講話のダイジェストムービーを視聴することができます。過去の特別講話ダイジェストムービーや、その他、様々な奈良県観光PR動画も発信しています。



特別講話



しゅんがくいん やぶなかしんこう
春岳院 住職 藪中真弘 師

大和郡山市の矢田寺大門坊に生まれ、2023年3月から春岳院住職を勤める。2040年の秀長公四百五十回忌に向け、境内の整備や「大和郡山を楽しんでいただけるように」との取り組みを行う。



秀長公の菩提を弔い続ける 大和郡山城下町の寺院

―豊臣秀長公の菩提寺として多くの方がご参拝されていると伺いました。

当寺は鎌倉時代中期の創建で東光寺という名前でした。広い境内にお堂が6つあったと言われています。のちに豊臣秀長公のお位牌いはをお預かりし菩提寺となりまして、秀長公の戒名「大光院殿前亜相しゅんがくしんこう（※1）春岳紹栄大居士」から春岳の二字をいただいて現在に至ります。大河ドラマで秀長公が主役になったことで秀長公やドラマのファンの方々はもちろん、秀長公に仕え、秀長公のお位牌を当寺に託した武將・藤堂高虎をお好きな皆様にもよくご参拝いただいていると感じております。

―お位牌に加え、秀長公ゆかりの品々もありませんか？

秀長公二百回忌の際に描かれたという「豊臣秀長画像」が伝わっております。二百回忌は当時の郡山藩主である柳澤家が春

岳院で執り行い、この絵も描かせたとされます。秀長公が考案した江戸時代になっても続けられた郡山城下町の商工業保護政策・箱本制度で使われた「御朱印箱」や箱の中に治められていた数点の古文書も春岳院に残されています。そして秀長公四百回忌に市民の皆様の浄財で造られた「秀長公木像」ですね。秀長公は大和郡山の町の基礎を作った方であり、非常に穏やかな人格者だったとも伝わります。農民として生まれ成長し、

のちに武將となった秀長公は、立場の違いや気持ちを理解し思いやれる方であり、だからこそ時代を超えて地域で慕われ続けているのではないのでしょうか。

―改修された本堂に仏様がずらっと並んでおられて驚きました。

2040年に秀長公の四百五十回忌を迎えるのに向け、瓦が落ちて雨漏りし、数人歩くと床が抜けそうだったお堂を改修せね

ばと考えていたのですが、住職になった一週間後に大河ドラマについてのお知らせが突然あり、少し慌てました（笑）。多くの方のご尽力のおかげで改修が進み、2026年1月より皆様に安心して参りしていただけるようになりました。お堂には、ご本尊・阿弥陀如来様をはじめとして、平安時代の仏様など含めたくさんいらっしゃいますし、境内に建つ七重石塔の下部にも奈良期の形式を持つ四方仏が彫られています。お参りいただいて、ご縁をむすんでいただけたらうれしく思います。

（※1）亜相：古代律令制の官職「大納言」の中国風の名称



大和郡山市新中町2
MAP P19 4-1
0743-53-3033
JR・近鉄郡山駅から徒歩約10分



WEBで
ダイジェスト
ムービーが
見れます！



春日大社 国宝殿

MAP A d-2

開館10周年記念特別展 工芸の巨人 人間国宝 北村昭斎

— 蒔絵螺鈿の至宝と春日大社 —

10/3(土)～12/13(日) ※11月10日火休館

春日大塗師職の人間国宝・北村昭斎氏。その漆芸作品は、荘重で華麗、かつ身近な草花が愛らしく躍動する柔らかな感性のデザインが魅力です。また正倉院宝物や春日大社古神宝の復元模造品も展示。代々伝わる最高峰の螺鈿や蒔絵の美を堪能することができます。

華文玳瑁螺鈿箱（神宮美術館蔵）
写真：神宮美術館

所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788

行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ

●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分

HP <https://www.kasugataisha.or.jp/museum/>

福智院

MAP A c-2

宝冠十一面観音菩薩立像

10/17(土)～10/23(金)、11/1(日)～11/7(土)、2027.3/17(水)～3/23(火)

本尊・地藏菩薩坐像（鎌倉時代）は総高約7m。地藏大仏と呼ばれ、千仏光背を背負っています。宝冠を頭に載せた優美な十一面観音菩薩立像は、明治の廃仏毀釈の後、お迎えした客仏です。

宝冠十一面観音菩薩立像
写真：奈良公園

所 奈良市福智院町46

☎ 0742-22-1358

行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ

不空院

MAP A d-2

本尊・不空羂索観音菩薩坐像など

重文など

10/17(土)、10/24(土)～11/9(月)

縁切り・縁結びで知られる古刹不空院では、本堂にて本尊・不空羂索観音菩薩坐像、鎮守堂では（秘仏）宇賀弁財天女坐像が特別公開されます。また、12/22(火)冬至には、近代再興百年を記念して、柴燈護摩、火性三昧が営まれます。当日は大根焚きもあり、本堂のみ拝観できます。

宇賀弁財天女坐像
写真：不空院

所 奈良市高畑町1365

☎ 0742-26-2910

行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町（わりいしちょう）」下車、徒歩約10分

HP <https://www.fuku-in.com/>

◆ 朝のお参り・朝の勤行 ◆

一般参拝いただける朝のお参りと朝の勤行をご紹介します。

※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せ下さい。

春日大社 P12 MAP A d-2 ☎ 0742-22-7788

◎朝のお参り（朝拝）午前8時50分頃～

※春日大社公式ホームページで日程公開

興善寺 P13 MAP A c-2 ☎ 0742-23-7007

◎朝の勤行 午前7時～ ※要予約

十輪院 MAP A c-2 ☎ 0742-26-6635

◎朝の勤行 午前8時半～ 体験作務 午前8時～

※月曜休（祝日の場合は翌火曜）、予約不要

朝護孫子寺 P15 MAP A b-2 ☎ 0745-72-2277

◎修行代（いぎょうだい）（修法と勤行）

極楽寺 MAP A c-2 ☎ 0743-57-2231

◎朝のお勤め、朝茶の会（法話とお茶）

午前7時～8時 ※要予約

石上神宮 P10 MAP A a-1 ☎ 0743-62-0900

◎朝拝（ちやうはい） 午前8時半～

金峯山寺 P4-17 MAP A c-2 ☎ 0746-32-8371

◎蔵王堂 朝座勤行（あさごんぎょう）

※御開帳期間のみ有料

長谷寺 P17 MAP A a-1 ☎ 0744-47-7001

◎朝の勤行 4月～9月 午前6時半～

10月～3月 午前7時～

※予約不要

【東大寺 A d-1】①僧形八幡神坐像（国宝）《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像（重文）《勧進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像（重文）《公慶堂》：10/5(月) ※転書会
②良弁僧正坐像（国宝）《開山堂》、執金剛神立像（国宝）《法華堂》、重源上人坐像（国宝）、阿弥陀如来立像（重文）、愛染明王坐像（重文）《俊乗堂》：
12/16(水) ※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。（掲載内容は2026年8月現在のものです）

奈良大和路の

「秘宝・秘仏特別開帳」

普段は拝観できない秘宝・秘仏の特別開帳を紹介

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」の情報は、「祈りの回廊」
公式ホームページでもご確認ください。<https://inori.nara-kankou.or.jp/>

興福寺

MAP A c-2

①北円堂特別開扉

②東金堂 夜間拝観

国宝など

10/24(土)～11/8(日)

10/31(土)、11/7(土)、14(土)、21(土)、28(土)

※午前9時～午後5時

※午後5時30分～午後9時 受付終了は閉扉15分前

①北円堂（国宝）では運慶晩年の傑作・弥勒如来坐像（国宝）などが拝観できます。
②奈良市観光協会「秋夜の奈良旅2026」の一環として今年創建1300年を迎えた東金堂（国宝）が秋の夜間拝観を実施。

所 奈良市登大路町48

☎ 0742-22-7755

行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ ●近鉄奈良駅から徒歩約5分

HP <https://www.kohfukuji.com/>東金堂（国宝）
写真提供：奈良市観光協会

元興寺

MAP A c-2

①板絵智光曼荼羅特別開扉

重文

10/24(土)～11/15(日)

②秋季特別展「ならまちの神さま・元興寺の鎮守と町の神々」

10/24(土)～11/15(日)

秋季特別展では、「ならまち」の神社や、各町・寺院などに祀られたさまざまな「神さま」をとりあげ、その歴史と信仰文化に関連文化財によって紹介されます。

所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377

行 ●近鉄奈良駅から徒歩約15分

●JR奈良駅から徒歩約20分

HP <https://gangoji-tera.or.jp/>

境内

五劫院

MAP A d-1

涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像

重文

2027.2/5(金)～2/15(月) 9時～15時（要予約）

南都焼討に遭った東大寺の再興に尽力した重源上人が宋から請来したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像は果てなく長い時間を瞑想されたお姿で、特に頭髮がアフロヘアのように個性的です。涅槃図とともに特別公開されます。

五劫思惟阿弥陀仏坐像（重文）
写真：五劫院

所 奈良市北御門町24

☎ 0742-22-7694

行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台（くのみだい）八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

大安寺

MAP A b-2

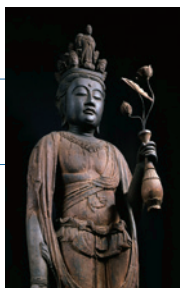
①本尊・十一面観音菩薩立像 （重文）

10/1(木)～11/30(月)

②秘仏・馬頭観音菩薩立像 （重文）

2027.3/1(月)～3/31(木)

南都七大寺のひとつで、聖徳太子や空海とゆかりが深い古刹。本尊十一面観音は瘧封じの仏様として広く信仰され、馬頭観音は災厄を除く観音様として信仰されています。



①十一面観音菩薩立像（重文）
写真：榎飛鳥園

所 奈良市大安寺2-18-1 ☎ 0742-61-6312

行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町（しらつちちょう）行きバス「大安寺」下車、徒歩約10分 ●JR奈良駅から徒歩約25分 <https://www.daijanji.or.jp/>

法華寺

椿 12月～3月 梅 2月中旬～3月

MAP A b-1

①十一面観音菩薩立像 （国宝など）

10/24(土)～11/10(火)、2027.3/20(土)～4/7(木)

②絹本着色阿彌陀三尊および童子像（慈光殿） （国宝など）

10/24(土)～11/10(火)

聖武天皇の後・光明皇后の発願で創建。特別開扉の本尊・十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルとも。秋季は平安時代作の浄土芸術の傑作も同時公開されます。



②阿彌陀三尊および童子像のうちの阿彌陀如来像（国宝）
写真：榎飛鳥園

所 奈良市法華寺町882 ☎ 0742-33-2261

行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分 <https://hokkejimonzeki.or.jp/>

正暦寺

紅葉 11月中旬～12月上旬

MAP A d-1

秘仏・薬師如来倚像 （重文など）

11/3(火)・祝～11/12(木) ※福寿院にて、11/13(金)～12/6(日) ※本堂にて、12/22(火) ※瑞瑞殿（収蔵庫にて）

992年（正暦3）、透き通る清流と秋の紅葉に彩られる「錦の里」に創建。特別公開される白鳳秘仏の本尊・薬師如来倚像は台座に腰を掛け、足を踏割蓮華に乗せている、珍しいお姿をしています。



薬師如来倚像（重文） 写真：正暦寺

所 奈良市菩提山町157 ☎ 0742-62-9569

行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分 ●11月中旬～12月初旬はJR・近鉄奈良駅から臨時バス運行予定（詳細は奈良交通へお問合せください） ●JR・近鉄天理駅からタクシー約20分 <https://shoryakuji.jp/>

西大寺

萩 9月下旬～10月上旬

MAP A a-1

愛染明王坐像（愛染堂）、聚宝館特別公開 （国宝）（重文など）

10/25(日)～11/15(日)、2027.1/15(金)～2/4(木)

称徳天皇の勅願によって創建された官大寺で南都七大寺の一つ。鎌倉時代に叡尊上人によって再興されました。愛染堂の秘仏本尊・愛染明王坐像の特別御開扉、多数の寺宝を納める聚宝館が開館されます。



愛染明王坐像（重文） 写真：榎飛鳥園

所 奈良市西大寺芝町1-1-5

☎ 0742-45-4700

行 近鉄大和西大寺駅から徒歩約3分

<https://saidaiji.or.jp/>

帯解寺

MAP A d-1

①秘仏・秘宝特別公開 （重文など）

11/10(火)～11/17(火)

②令和9年春 秘仏公開 （重文など）

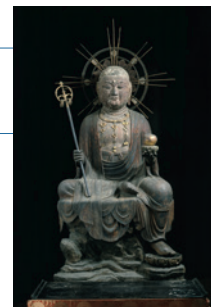
2027.2/27(土)～3/6(土)

本尊・帯解寺安地藏菩薩は子授けや安産に霊驗あらたかで、全国から多くの祈願が寄せられます。本尊のほか、春日赤童子画像、虚空蔵菩薩坐像などが公開されます。

所 奈良市今市町734 ☎ 0742-61-3861

行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分 ●近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分

<https://obitokedera.or.jp/>



帯解寺安地藏菩薩像（重文）
写真：榎飛鳥園

海龍王寺

雪柳 3月中旬～4月中旬

MAP A b-1

十一面観音菩薩立像、寺宝展 （重文など）

10/24(土)～11/10(火)、2027.3/23(火)～4/7(木)

寺号は遣唐留学僧・玄昉が嵐の中『海龍王経』を唱え無事に帰国した故事が由来。遣唐使以来、現在も旅行や留学の安全が祈願されています。光明皇后が刻んだ像をもとにした本尊・十一面観音菩薩立像などを拝観できます。

所 奈良市法華寺町897 ☎ 0742-33-5765

行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分

<https://kairyuuji.jp/>



十一面観音菩薩立像（重文）
写真：榎飛鳥園

不退寺

紅葉 11月下旬～ 熱帯睡蓮 ～11月頃 椿 10月～4月 レンギョウ 3月下旬～4月上旬

MAP A b-1

在原業平朝臣画像、寺宝特別展

10/1(木)～11/30(月)、2027.3/1(月)～5/31(月)

六歌仙のひとり在原業平ゆかりの古刹で、正式名称は不退転法輪寺。本尊は業平自作とされる聖観音菩薩立像。在原業平朝臣画像や寺宝の公開時期は、紅葉や山茶花・椿・レンギョウなどが見頃です。

所 奈良市法蓮町517 ☎ 080-8943-1201

行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分 ●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分

<http://www3.kcn.ne.jp/~futaiji/>



在原業平朝臣画像
写真：永野鹿鳴荘

弘仁寺

MAP A d-1

①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像

11/1(日)～11/30(月)（拝観は午後1時より）

②唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財）

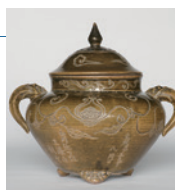
11/1(日)～11/30(月)（拝観は午後1時より）

本尊は無限の智恵と慈悲を持つ虚空蔵菩薩。13歳の子に知恵を授けてもらう十三詣りが有名。奈良市指定文化財の香炉、数学の問題や解法を記した算額も必見。

所 奈良市虚空蔵町46 ☎ 0742-62-9303

行 ●JR・近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車乗換、米谷町行きコミュニティバス「高樋町」下車、徒歩約5分 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約30分

<http://www.kouninji.org/>



②唐草文三足双耳香炉
（奈良市指定文化財）
写真：奈良市教育委員会

【興善寺 A c-2】①観経曼陀羅拝観：9/20(日)～9/26(土) ※要予約、2027.3/18(木)～3/24(火) ※要予約 ②涅槃図拝観：2027.2/1(月)～2/15(月) ※要予約

【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩：2027.2/8(月) ※初午、3/4(木) ※二の午

【伝香寺 A c-2】本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地藏菩薩立像納入品、筒井家関連書状：3月の第四日曜日（2027.3/28(日)）



きこうじ **喜光寺** MAP A a-2

べんてんどうしんえい うがじん ひぶつ とくべつかい ひ
弁天堂神影 宇賀神（秘仏）特別開扉

2027.1/1(金)・(祝)～1/15(金)

行基菩薩が創建し、東大寺大仏殿のモデルとして建てられた本堂は「試みの大仏殿」と呼ばれます。宇賀神像は人頭蛇身という神秘的な姿。福德を願って祈願する人に多くの霊験を賜るとされます。

所 奈良市菅原町508 ☎ 0742-45-4630
行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分 ●近鉄大和
西大寺駅から徒歩約20分 ●JR・近鉄奈良駅
から大和西大寺駅南口行きバス「菅原東」下車
徒歩約6分
HP https://kikouji.com/



宇賀神像 写真：喜光寺

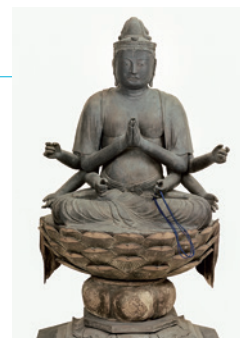
ひがしなるかわかんのんこう おうげんじ **東鳴川観音講（応現寺）** MAP B a-2

ふくろうけんさくかんのん ぼさつ ざぞう
不空羂索観音菩薩坐像 重文

毎月第一日曜日

奈良市と京都府の県境に接する東鳴川町に伝わる諸尊を守る観音講。不空羂索観音菩薩坐像は興福寺南円堂が焼失する以前の本尊を模したとされる平安後期の貴重な仏像です。

所 奈良市東鳴川町31 応現寺
☎ 0742-34-5369(奈良市教育委員会文化財課)
行 JR・近鉄奈良駅から下狹川または広岡行きバス「東鳴川」下車、徒歩約5分
HP https://www.city.nara.lg.jp/site/bunkazai/10591.html



不空羂索観音菩薩坐像(重文)
写真：奈良市教育委員会

じょうりじ 紅葉 **浄瑠璃寺** MAP B a-2
11月上旬～11月下旬

ひぶつ きつやうてんによりうどう **①秘仏・吉祥天女立像 重文**

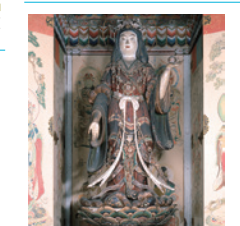
10/1(木)～11/30(月)、2027.1/1(金)・(祝)～1/15(金)

さんじゅうとうしやうそうかい ひ やくしにょらい ざぞう **②三重塔初層開扉・薬師如来坐像 重文**

毎月8日、10/31(土)～11/7(日)、2027.1/1(金)・(祝)～1/3(日)、1/8(金)～1/10(日) ※ただし好天の日に限る

平安時代の浄土式庭園と九体阿弥陀如来坐像を安置する本堂(国宝)を持つ名刹。厨子入りの吉祥天女立像や三重塔(国宝)初層内陣の薬師如来坐像が公開されます。

所 京都府木津川市加茂町西小札場40
☎ 0774-76-2390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺前(浄瑠璃寺)」下車、徒歩約3分(10/10(土)～12/6(日)の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からのバス有り)



①吉祥天女立像(重文) 写真：嵯峨鳥園

まつおでら **松尾寺** MAP C c-1

とねり たいし せかい せかい とねりしんのうどう
①舎人と太子のいる世界(世界のトルソー、舎人親王像、聖徳太子像他)

～12/20(日)(9時～16時)

ひぶつほんぞん やくよげかんのん やくよげせんじやせんげんかん ぜん ぼさつうどう
②秘仏本尊・厄除観音(厄除千手千眼観世音菩薩立像)

11/3(火)・(祝)(9時～16時)

日本書紀を編纂した舎人親王が開基したと伝わる日本最古の厄除霊場。世界のトルソー、日本唯一の舎人親王像など寺宝を公開。秘仏本尊は年に一日だけの公開となります。

所 大和郡山山市山田町683 ☎ 0743-53-5023
行 ●JR大和小泉駅(東口)から近鉄郡山駅行きバス「松尾寺口」。近鉄郡山駅から大和小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約60分 ●JR大和小泉駅から徒歩約90分
HP https://matsuodera.com/



①世界のトルソー 写真：大和松尾寺

やくしじ 萩 **薬師寺** MAP A a-2
9月中旬～10月中旬

あき とくべつかい はくほう こんどうふつこうごじゅうしゅうねんきねんてん
①秋の特別公開「よみがえる白鳳-金堂復興五十周年記念展-」

10/24(土)～11/8(日) 国宝など

きちじやうてんにょ が ぞうとくべつかい こくほう へいせいほんきちやうてん
②吉祥天女画像特別公開(国宝・平成本吉祥天) 国宝

2027.1/1(金)・(祝)～1/3(日) [国宝]、1/4(月)～1/15(金) [平成本吉祥天]

薬師寺では秋の特別公開として玄奘三蔵院伽藍の玄奘三蔵訳経像と平山郁夫「大唐西域壁画」が公開。また西僧坊では金堂復興50年にちなみ東塔水煙(国宝)や天武天皇像、豊臣秀吉ゆかりと伝わる摩利支天像が拝観できます。11月7日・21日には秋の夜間特別拝観。2027年1月には奈良時代作の吉祥天女画像(国宝)と吉祥天女画像(平成本)が順次公開されます。



①大唐西域壁画 写真：薬師寺



②吉祥天女画像(国宝) 写真：薬師寺



①東塔水煙(国宝) 写真：薬師寺

所 奈良市西ノ京町457 ☎ 0742-33-6001
行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ ●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ HP https://www.yakushiji.or.jp/

がんせんじ 紅葉 **岩船寺** MAP B a-2
11月中旬～12月上旬

ひぶつ とくべつかい ひぶつ とくべつかい
①秘仏秘仏特別公開

10/1(木)～11/30(月)

ひぶつ とくべつかい
③秘仏特別公開

2027.1/1(金)・(祝)～1/15(金)

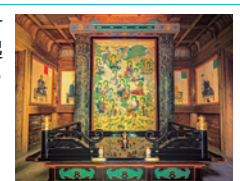
さんじゅうとうしやうしやうとくべつかい ひ ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり

②三重塔初層特別開扉 重文

10月・11月の毎週土日祝

秋の特別公開では、秘仏・如意輪観音、弁財天、羅刹天、秘仏・両界曼荼羅、岩船寺縁起などに加え、三重塔初層の色鮮やかな壁画も公開。秘仏は1月にも特別公開されます。

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43
☎ 0774-76-3390 HP https://gansenji.or.jp/
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ(10/10(土)～12/6(日)の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からのバス有り)



②三重塔初層内部(重文) 写真：岩船寺

かいじゅうせんじ 紅葉 **海住山寺** MAP B a-1
11月中旬～11月下旬

こじゅうとうとくべつかい ひ **①五重塔特別開扉 国宝など**

10/31(土)～11/8(日) ※荒天時は塔開扉中止の場合あり

じ ほうとくべつかい
②寺宝特別公開 重文など

10/31(土)～11/29(日)

735年創建と伝わり、鎌倉時代に解脫上人貞慶により中興された名刹。国宝・五重塔の内陣は華麗に彩色された厨子風造りで、扉絵は必見。四天王立像や多くの絵画などの文化財も公開されます。

所 京都府木津川市加茂町例幣海住山20
☎ 0774-76-2256
行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺口」下車、徒歩約20分(※バスは平日のみ運行) ●JR加茂駅西口から和泉町原山行きバス「岡崎(加茂)」下車、徒歩約30分 ●JR加茂駅からタクシー約10分
HP http://www.kaijyusenji.jp/



①五重塔 内部(国宝) 写真：嵯峨鳥園

【唐招提寺 A a-2】金亀舎利塔(国宝)、釈迦如来立像(重文)など《礼堂》：10/21(火)～10/23(金)

【現光寺 B a-1】本尊・十一面観音坐像(重文)：11/3(火)・(祝)

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。(掲載内容は2026年8月現在のものです)



浄慶寺 NEW

MAP c d-1

御本尊「阿弥陀如来坐像」 重文

11/7(土)・11/8(日)

御本尊阿弥陀如来坐像は国の重要文化財に指定されており、平安時代中期10世紀頃の作とみられます。耳に刻まれた細かな網目模様が特徴で、寺伝によると富麻寺から迎えられた客仏とされています。他にも、特徴的な姿の見返り地藏菩薩像が公開されます。



阿弥陀如来坐像(重文)
写真:浄慶寺

所 大和郡山市洞泉寺町7番地
☎ 0743-52-3953
行 近鉄郡山駅、JR郡山駅から徒歩約10分

朝護孫子寺 紅葉



11月上旬～12月上旬

MAP c b-2

①信貴山縁起絵巻特別公開 ②中秘仏毘沙門天王像御開帳

「飛倉の巻」 国宝

10/31(土)～11/15(日)

2027.1/1(金)・祝～1/11(月)・祝
2/1(月)～2/28(日)

※開帳時間は9時～16時になります
※御祈禱中はお待ちいただくことになります
※1/1～1/3は祈禱者のみの拝参。一般の方の拝参は不可

国宝の信貴山縁起絵巻は全3巻のうち「飛倉の巻」が霊宝館で、また10/18(日)は「毘沙門天王二十八使者守護善神練り行列」、11/3(火)・祝は「柴灯護摩供火渡り」が開催されます。



①信貴山縁起絵巻(飛倉の巻、部分)
(国宝) 写真:朝護孫子寺

所 生駒郡平群町信貴山2280-1 ☎ 0745-72-2277(本坊)
行 JR・近鉄王寺駅または近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
HP <https://www.sigisan.or.jp/>

聖林寺 南天・千両・万両



11月～2月

MAP d b-1

①秘宝・マンダラ展 ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天

11/1(日)～11/30(月)

2027.1/1(金)・祝～1/3(日)

両界曼荼羅や観音浄土補陀落山図など、秘宝のマンダラ(仏画)が約15点公開。正月三が日は秘仏も開扉されます。国宝の十一面観音は、リニューアルされた御堂で360度から拝観できます。



①富満曼荼羅 写真:聖林寺

所 桜井市下692 ☎ 0744-43-0005
行 ●JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス「聖林寺」下車、徒歩約3分
●JR・近鉄桜井駅からタクシー約10分
HP <https://www.shorinji-temple.jp/>

壺阪寺(南法華寺) 紅葉



11月中旬～12/6まで(開催)

MAP d a-2

①観音大めがねくぐり ②三重塔・多宝塔初層同時開扉

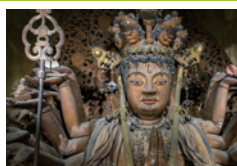
10/10(土)～12/6(日)

10/10(土)～12/6(日)

②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝

10/10(土)～12/6(日)

眼病封じの古刹。大観音石像サイズの大めがねくぐり、浄布で本尊・十一面千手観音菩薩像に触れるお身拭い参拝、重文・三重塔と多宝塔の開扉が行われます。



本尊・十一面千手観音菩薩坐像
(撮影:藤井金治)

所 高市郡高取町壺阪3 ☎ 0744-52-2016
行 近鉄壺阪山駅から壺阪寺前行きバス終点下車、徒歩すぐ(土日のみバス運行)
HP <https://www.tsubosaka1300.or.jp/>

洞泉寺 NEW

MAP c d-1

本尊「阿弥陀三尊立像」 重文

11/7(土)・11/8(日)

豊臣秀長が建立。境内には光明皇后が民衆の病氣平癒のために作らせたと伝わる「垢かき湯船」と「垢かき地藏」あり。境内の小堂に安置されている「垢かき地藏」は、郡山城の大書院の沓脱石となっていました。夢のお告げを得た秀長が掘り起こし、寺に祀ったものだといわれています。



本尊「阿弥陀三尊立像」(重文)
写真:洞泉寺

所 大和郡山市洞泉寺町15-1
☎ 0743-52-2893
行 近鉄郡山駅、JR郡山駅から徒歩約10分

法隆寺

MAP c c-1

①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 国宝

10/22(木)～11/22(日)

②上御堂(釈迦三尊像) 国宝など

11/1(日)～11/3(火)・祝

現存する世界最古の木造建築物群を有し、日本ではじめて世界遺産に登録された寺院。夢殿では救世観音菩薩立像を開扉。上御堂の釈迦三尊像なども期間限定で拝観できます。



①夢殿本尊・観音菩薩立像
【救世観音】(国宝)
写真:嵯峨鳥居

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1 ☎ 0745-75-2555
行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩約5分
●近鉄斑鳩駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩約7分
HP <https://www.horyuji.or.jp/>

安養寺

MAP c d-2

阿弥陀如来立像 重文

9/19(土)～9/27(日)、2027.3/20(土)～3/28(日)

江戸時代初期に創建。特別公開される阿弥陀如来立像(重文)は鎌倉時代の仏師・快慶の作品といわれます。ふくよかな容貌や流麗な衣文線(えもんせん)など快慶仏ならではの特色と技法をじっくり拝観できます。毎月25日14:00～写経会も行われています。



阿弥陀如来立像(重文)
写真:田原本町教育委員会

所 磯城郡田原本町八尾40
行 近鉄田原本駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
HP <https://anyouji.jp/>
開帳時間等詳細、お問い合わせは安養寺HPをご確認ください

おふさ観音 バラ



10月中旬～11月下旬

MAP d a-1

①秘宝・生き人形 ②寺宝・釈迦三尊像掛け軸

10/19(月)～11/30(月)

～12/31(木)

秋のバラまつりと同期間、本堂内で天才人形師・安本亀八作の生き人形が公開されます。「生き人形」とは精緻な技巧で徹底的に本物に似せた人形のこと。今年は本堂で30年振りに寺宝「釈迦三尊像掛け軸」を特別公開されています。



バラまつり 写真:おふさ観音

所 橿原市小房町6-22 ☎ 0744-22-2212
行 ●近鉄大和八木駅から下市口駅行き、近鉄御所駅行きバス「小房(おふさ)」下車、徒歩約5分
●近鉄大和八木駅から徒歩約25分またはタクシーで約10分 ●JR畝傍駅から徒歩約10分
HP <https://www.ofusa.jp/>

【吉田寺 c-2】多宝塔(重文)開扉秘仏大日如来坐像公開:11/1(日)～11/3(火)・祝
【法輪寺 c-1】秋季特別展 妙見堂特別公開と秘仏妙見菩薩像開帳:11/1(日)～11/8(日)
【慈光院 c-1】本堂天井鳴き龍:2027.1/1(金)・祝～1/3(日)



おから 紅葉 (もみじ回廊「光の巡礼」10/10~12/6まで開催) MAP D b-2
11月中旬~12月中旬 11/21、22、23、28、29 (岡寺紅葉ライトアップ)

①本堂内々陣お扉特別開扉 重文
10/10(土)~11/29(日)

②三重宝塔初層壁画扉絵特別公開
10/18(日)

西国第7番札所の厄除け霊場。高さ4.85mの本尊・如意輪観音坐像は日本最大の塑像。迫力ある全身を拝観できます。三重宝塔は開山忌のみの公開です。

所 高市郡明日香村岡806 ☎ 0744-54-2007
行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡寺前」下車、徒歩約10分
HP <https://www.okadera3307.com/>

①塑造 如意輪観音坐像 (重文)
写真: 岡寺



たちばなでら 橘寺 MAP D a-2

①聖倉殿 (収蔵庫) 特別公開 重文など
10/17(土)~11/3(火)・祝

聖徳太子生誕の地といわれ、太子建立の7カ寺の一つ。本堂の太子殿には、聖徳太子35歳の像 (重文) が安置されています。聖倉殿にて伝・日羅立像 (重文) や絹本着色太子絵伝が特別公開されます。往生院では、260点にもおよぶ華の天井画が拝観できます。

所 高市郡明日香村橘532 ☎ 0744-54-2026
行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡橋本」または「川原」下車、いずれも徒歩約3分
HP <https://tachibanadera-asuka.jimdofree.com/>



伝・日羅立像 (重文)
写真: 朝飛鳥園

ちやうがくじ 長岳寺 紅葉 11月~12月 椿 1月~3月 MAP E a-1

大地獄絵開帳
10/23(金)~11/30(月)

日本紅葉の名所100選の紅葉に境内が染まる時期、三悪道や修羅道の世界を描いた大地獄絵 (狩野山楽筆) を公開。土日祝の13時頃は住職による絵解きも開催。(平日は要問合せ) 全9幅・総幅11mの迫力に触れると、日々の心と行いを省みたくくなります。

所 天理市柳本町508 ☎ 0743-66-1051
行 ●JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「上長岡 (かみなんか)」下車、徒歩約10分
●JR柳本駅から徒歩約20分
HP <https://www.chogakuji.or.jp/>



大地獄絵・大焦熱地獄 [部分]
写真: 長岳寺

あべもんじゅいん 安倍文殊院 コスモス迷路 9月中旬~10月下旬 MAP E a-2

金閣浮御堂霊宝館 寺宝展 国宝など
秋: 9/1(火)~11/30(月)、冬: 12/1(火)~2027.2/28(日)

本尊の文殊菩薩 (国宝) は仏師・快慶作で日本三文殊の1つです。霊宝館では安倍仲麻呂、安倍晴明の御尊像など陰陽道に関する宝物が公開されています。

所 桜井市阿部645 ☎ 0744-43-0002
行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すぐ ●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
HP <https://www.abemonjin.or.jp/>



本堂 写真: 安倍文殊院

たいまでら なかのぼう 當麻寺 中之坊 紅葉 11月下旬~12月上旬 MAP G a-1

①「龍游殿」村上裕二画伯大障壁画および絵天井特別公開
11/13(金)~11/30(月)

②導き観音 (平安時代・重要美術品)
毎月16日 13時30分~14時受付 ※祈願会参加者のみ

③新春福宝展: 琳賢筆「弁財天十五童子」ご開帳
2027.1/1(金)・祝~2/3(水)

日本画家・村上裕二画伯による大障壁画「龍游図」で飾られた「龍游殿」が特別公開されます。三輪山と二上山の間に巨大な龍の遊 (およ) ぐさまが3部屋にわたって豪快に描かれた大作となっています。また、村上裕二、上村淳之、絹谷幸二、中島千波らによる天井画で飾られた「写仏道場」の一部が4年に一度の特別公開となります。新春福宝展では、南都絵師琳賢が描いた「弁財天十五童子図」と福々しい「布袋尊百童子屏風」が公開されます。

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2001
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
HP <https://www.taimadera.org/>



①龍游図 写真: 當麻寺 中之坊



②写仏道場絵天井 写真: 當麻寺 中之坊



③弁財天十五童子図 写真: 當麻寺 中之坊

ほうざんじ 寶山寺 MAP F a-2

獅子閣 重文
11/21(土)~11/23(月)・祝

本堂本尊・不動明王像に加え、聖天堂に大聖歡喜天が祀られ、「生駒の聖天さん」として、信仰を集めています。獅子閣は明治17年落慶の洋風客殿。木製螺旋階段や色ガラス入りの扉・窓、2階ベランダ、細部に凝った造作は必見です。

所 生駒市門前町1-1 ☎ 0743-73-2006
行 近鉄生駒駅からケーブル「宝山寺」下車、徒歩約10分
HP <https://www.hozanji.com/>



獅子閣内部 (重文)
写真: 飛鳥園

りょうせんじ 靈山寺 パラ 10月~11月 MAP F b-2

①薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展 重文
10/23(金)~11/8(日)、2027.1/1(金)・祝~1/3(日) ※正月は薬師三尊像のみ

②三重塔初層特別開扉 重文
11/3(火)・祝

聖武天皇の勅願で行基が建立した古刹。1200坪あるバラ園の秋咲きにあわせて薬師三尊像や秘仏を公開。一日だけ公開の三重塔初層・極彩色壁画も見逃せません。

所 奈良市中町8379 ☎ 0742-45-0081
行 ●近鉄富雄駅から草台行きバス「靈山寺」下車、徒歩約1分 ●近鉄富雄駅から徒歩約30分またはタクシー約8分
HP <https://www.ryosenji.jp/>



①十一面観音菩薩立像 (重文)
写真: 朝飛鳥園

たい ま であ る おく の いん 紅葉 11月下旬～12月上旬 MAP G a-1

當麻寺 奥院

つづれおり たい ま だ ら へいせいばんとくべつこうかい
①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開 11/1(日)～11/15(日)

おほうじょうふすま え とくべつこうかい
②大方丈襖絵特別公開 11/16(月)～11/30(月)

浄土庭園が広がる奥院。中将姫が織ったとされる當麻曼陀羅を同じ手法で復元した當麻曼陀羅平成本や、上村淳之画伯の襖絵「花鳥浄土」などが特別公開されます。

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2008
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
HP <http://www.taimadera.or.jp/>



①平成本・當麻曼陀羅（部分）
写真：當麻寺 奥院

たい ま であ る さい な い ん 紅葉 11月下旬～12月上旬 MAP G a-1

當麻寺 西南院

さい な い ん ほんどう とくべつ かい ちよう
西南院本堂特別開帳 重文など 11/21(土)～11/30(月)

国宝・西塔を借景とする庭園が見事で、水琴窟（すいきんくつ）や美しい紅葉でも知られます。その本堂で万病消滅・富貴自在の仏様である本尊・十一面観音菩薩、聖観音菩薩、千手観音菩薩などが特別公開されます。



三観音（重文） 写真：當麻寺 西南院

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2202
行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
HP <https://taimadera-sainain.or.jp/>

きん ぶ せん じ MAP H c-2

金峯山寺

に ほん さい だい ひ ぶつ ほん ぞん こん ぐう ざ おう だい こん げん とく べつ かい ちよう
日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳 重文 10/24(土)～11/30(月)

世界遺産登録の本堂・蔵王堂（国宝）に安置されている日本最大秘仏・金剛蔵王大権現三尊が国宝仁王門修理勧進のため特別にご開帳されます。修験道の開祖・役行者が感得したと伝わる権現仏で、像高約7m。三尊とも青く彩色された有難いお姿です。

所 吉野郡吉野町吉野山2498 ☎ 0746-32-8371
行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分
HP <https://www.kinpusen.or.jp/>



秘仏金剛蔵王大権現像【中尊】（重文）
写真：金峯山寺

せつこう じ 寒牡丹 12月上旬～1月中旬 MAP G a-1

石光寺

み ろく に よらい ひ ぶつ もく ぞう に ほん さい こ せき ぶつ かい ちよう
弥勒如来秘仏（木造）、日本最古の石仏開帳 2027.1/1(金)・祝～1/31(日) ※12月31日は休み。1日は正午から

當麻曼陀羅を織った中将姫ゆかりの「染の井」「糸掛桜」が現存する寺院。寒牡丹や春牡丹、シャクヤクなどの花が四季を彩る境内で弥勒堂が開扉され、白鳳弥勒石仏と秘仏弥勒如来が開帳されます。



弥勒如来石仏 写真：石光寺

所 葛城市染野387 ☎ 0745-48-2031
行 ●近鉄二上神社口（にじょうじんじゃぐち）駅から徒歩約13分
●近鉄當麻寺駅から徒歩約20分
HP <https://sekkouji.or.jp/>

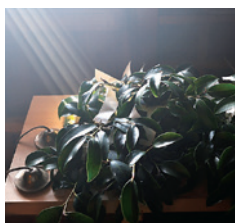
さくらもとぼう MAP H c-2

櫻本坊

てん む てんのう ご しん ぞう とく べつ かい ちよう
天武天皇御神像 特別ご開帳 11/7(土)～11/15(日)

万葉の時代、天武天皇が建立。天武天皇・持統天皇の勅願寺。修験道根本道場。神仏習合の象徴ともいえる天武天皇の御神像が特別ご開帳。宝聚堂（宝物殿）も開扉され、地藏大菩薩坐像（重文）、蔵王権現鏡像（平安時代）などの寺宝が拝観できます。

所 吉野郡吉野町吉野山1269 ☎ 0746-32-5011
行 近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP <https://sakuramotobou.or.jp/>



神 写真：櫻本坊

にょいりん じ 紅葉 10月下旬～11月下旬 MAP H c-2

如意輪寺

ご だい こ てんのう こ れい でん
後醍醐天皇御霊殿 11/2(月)～11/18(木)

吉野に行宮を構えた（南朝）後醍醐天皇の勅願寺。御霊殿には後醍醐天皇御自作の木像、南朝歴代天皇の御尊牌（御位牌）が奉祀されています。後醍醐天皇ご生誕（11/2）にあわせて「菊まつり」も開催。

所 吉野郡吉野町吉野山1024 ☎ 0746-32-3008
行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「如意輪寺口」下車、徒歩約20分（※バス本数少ない）●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP <https://nyoirinji.com/>



後醍醐天皇御自作の木像
写真：如意輪寺

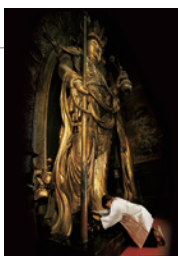
は せ であ る 紅葉（もみじ回廊10/10～12/6まで開催） 冬の牡丹 12月上旬～2月中旬 MAP I a-1

長谷寺

やまとのくにそうほんざんはせであらかいざん ねんきん こんこうほんどうとくべつはいかん
①大和國総本山長谷寺開山1300年記念 国宝本堂特別拝観 国宝など ②秋季特別寺宝展（宗宝蔵）重文など ③10/10(土)～12/6(日)

聖武天皇の勅願により、徳道上人が本尊・十一面観世音菩薩を祀ったのが始まりとされており「花の御寺」として知られています。本堂では、日本最大級の木造仏、十一面観世音菩薩立像（重文）のお御足に触れてご縁を結ぶことができ、境内宗宝蔵では、仏像や仏具などの寺宝が特別公開されます。上記期間中は長谷寺錦秋菊回廊も同時開催されます。

所 桜井市初瀬731-1 ☎ 0744-47-7001
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分
HP <https://www.hasedera.or.jp/>



本尊・十一面観世音菩薩立像（重文）
写真：長谷寺

えいさん じ 萩 紅葉 11月中旬～12月上旬 MAP H a-2

榮山寺

ほん ぞん やく し に よらい ざ ぞう
①本尊・薬師如来坐像 重文 ②八角円堂内陣装飾画特別拝観 国宝など ③10/25(日)～11/29(日)

奈良時代に藤原武智麻呂によって創建された古刹。古くから信仰を集める本尊薬師如来坐像（秘仏）と、法隆寺夢殿と並ぶ貴重な天平建築の八角円堂（国宝）を同時に拝観できるのはこの特別開帳期間だけです。

所 五條市小島町503 ☎ 0747-24-5557
行 ●JR五条駅から八木駅（南）行きバス「榮山寺口」下車、徒歩約10分（※バス本数少ない）●JR五条駅から徒歩約25分またはタクシー約5分
HP <https://www.eisanji.com/>

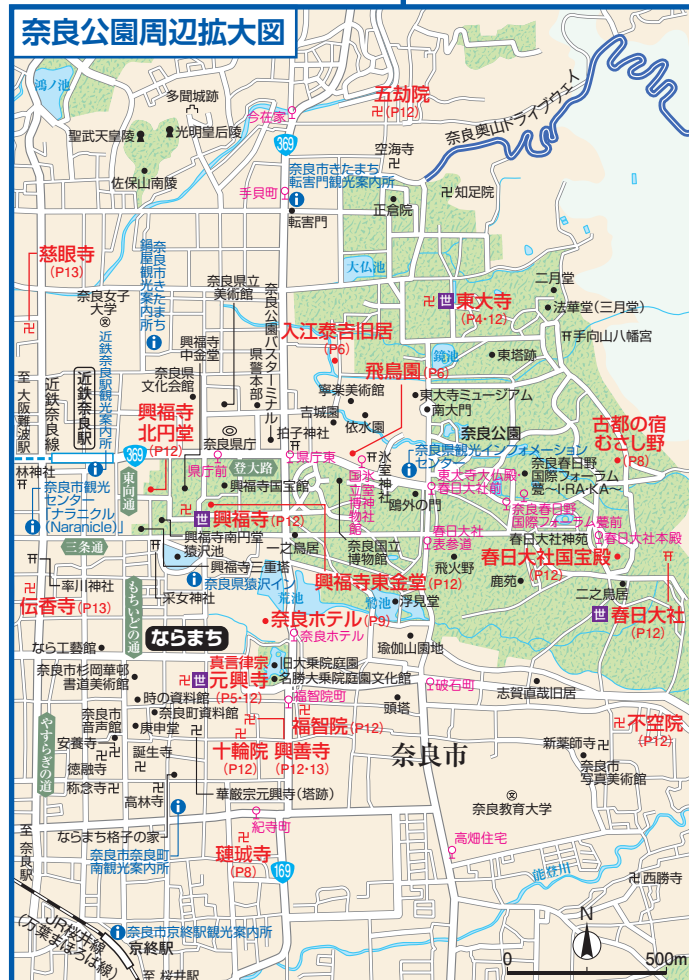
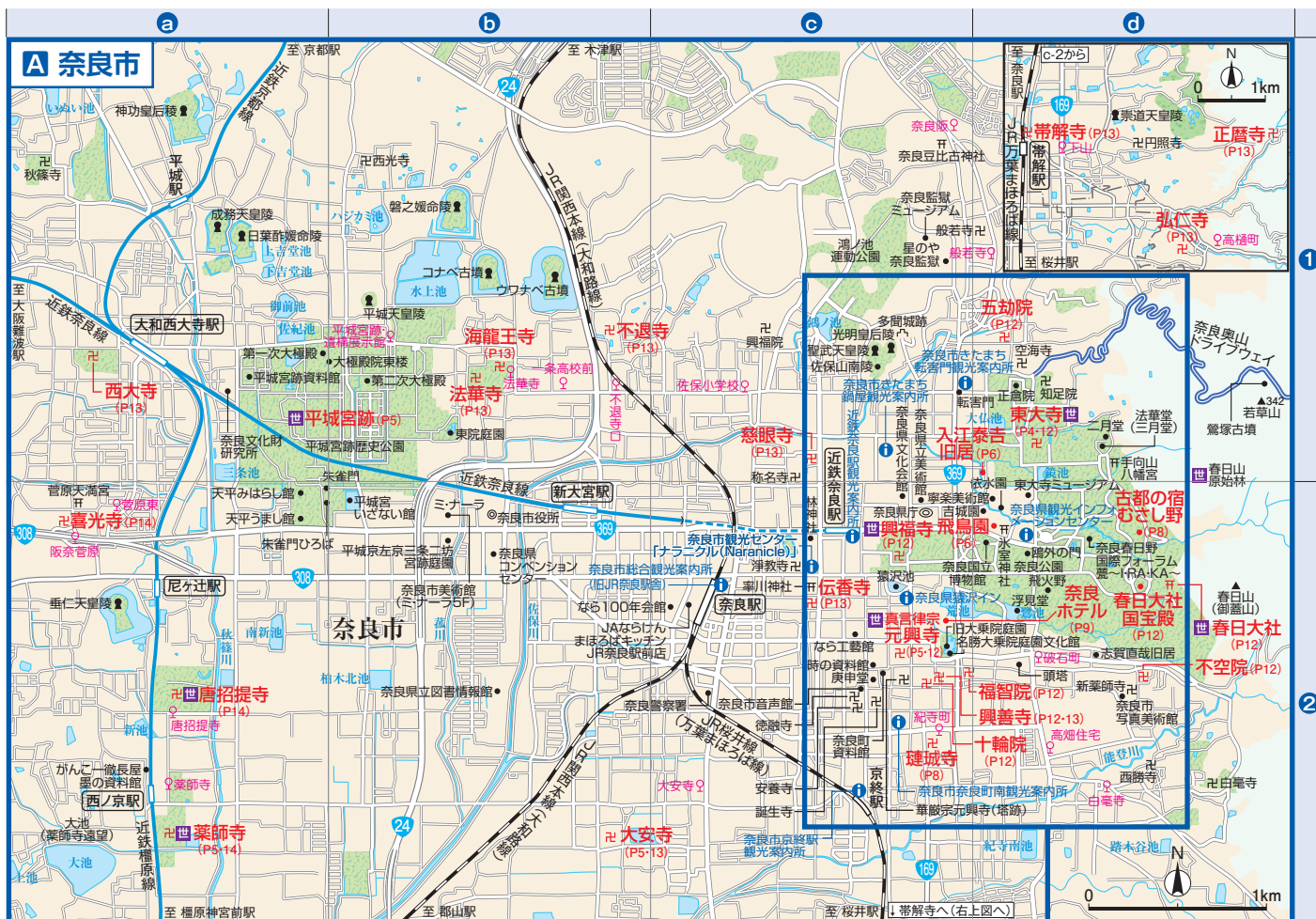


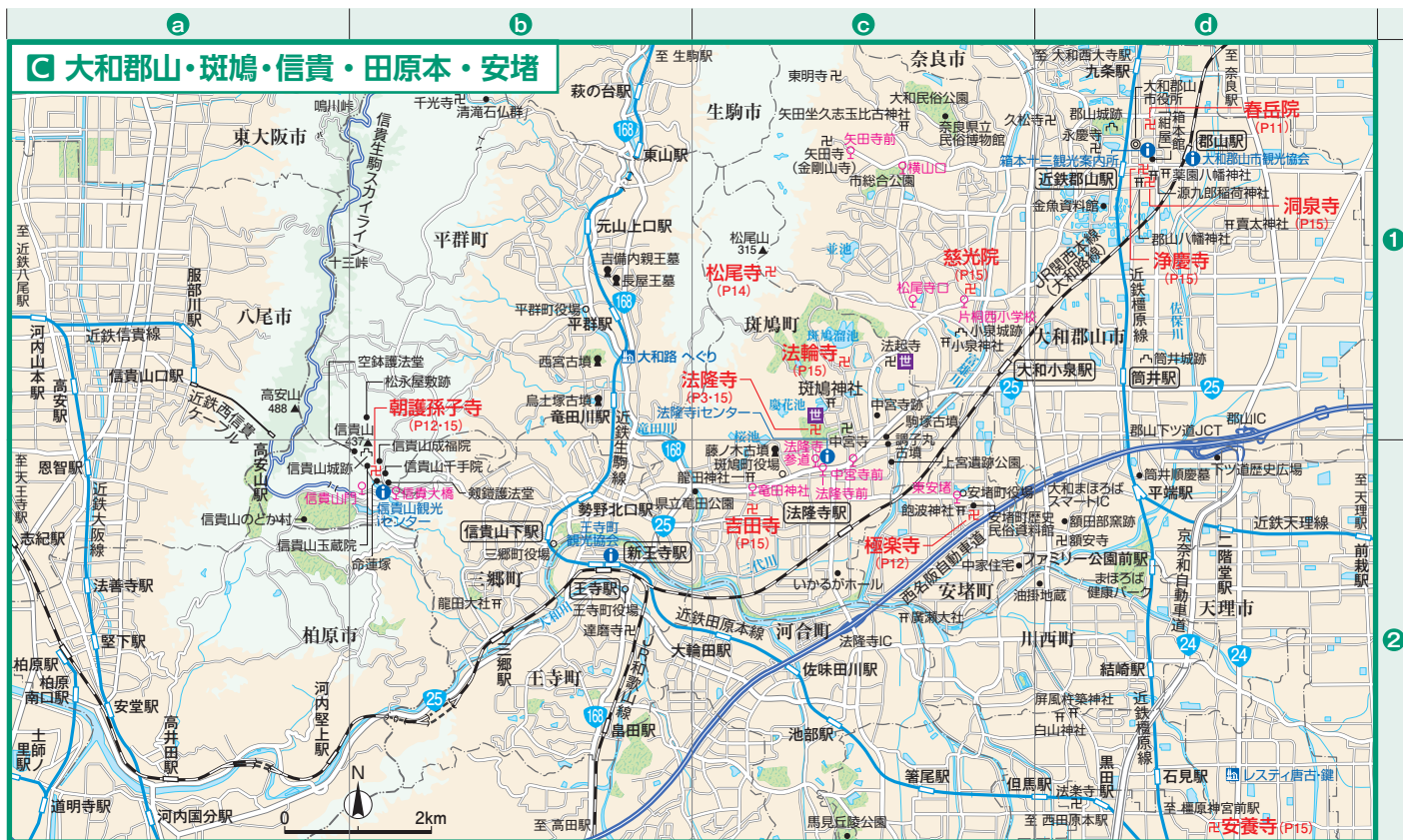
①本尊・薬師如来坐像（重文）
写真：榮山寺

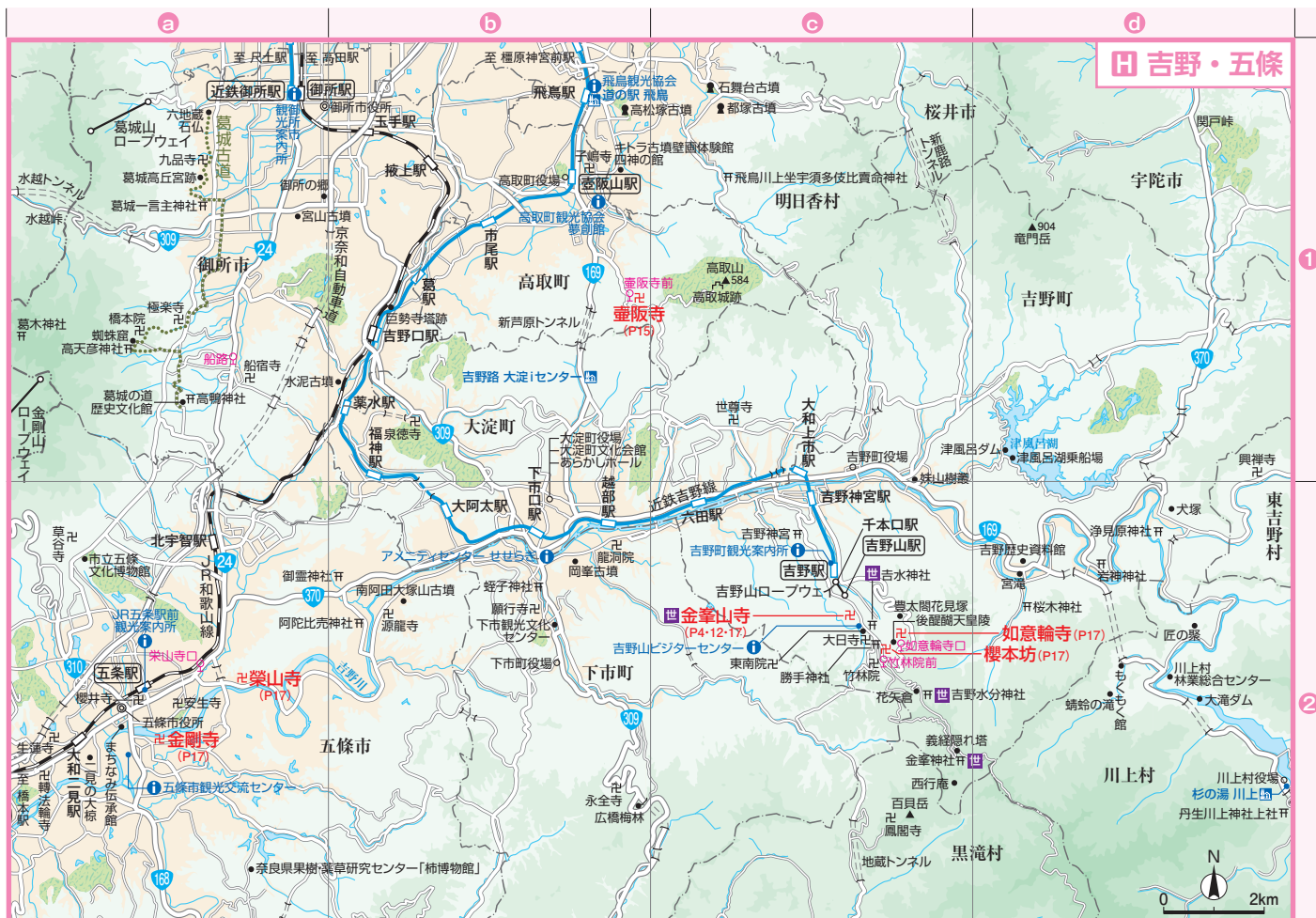
【金剛寺 I a-2】星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊：2027.2/3(木) 【法起院 I a-1】長谷庚申 秘仏青面金剛像：10/10(土)～10/18(日)

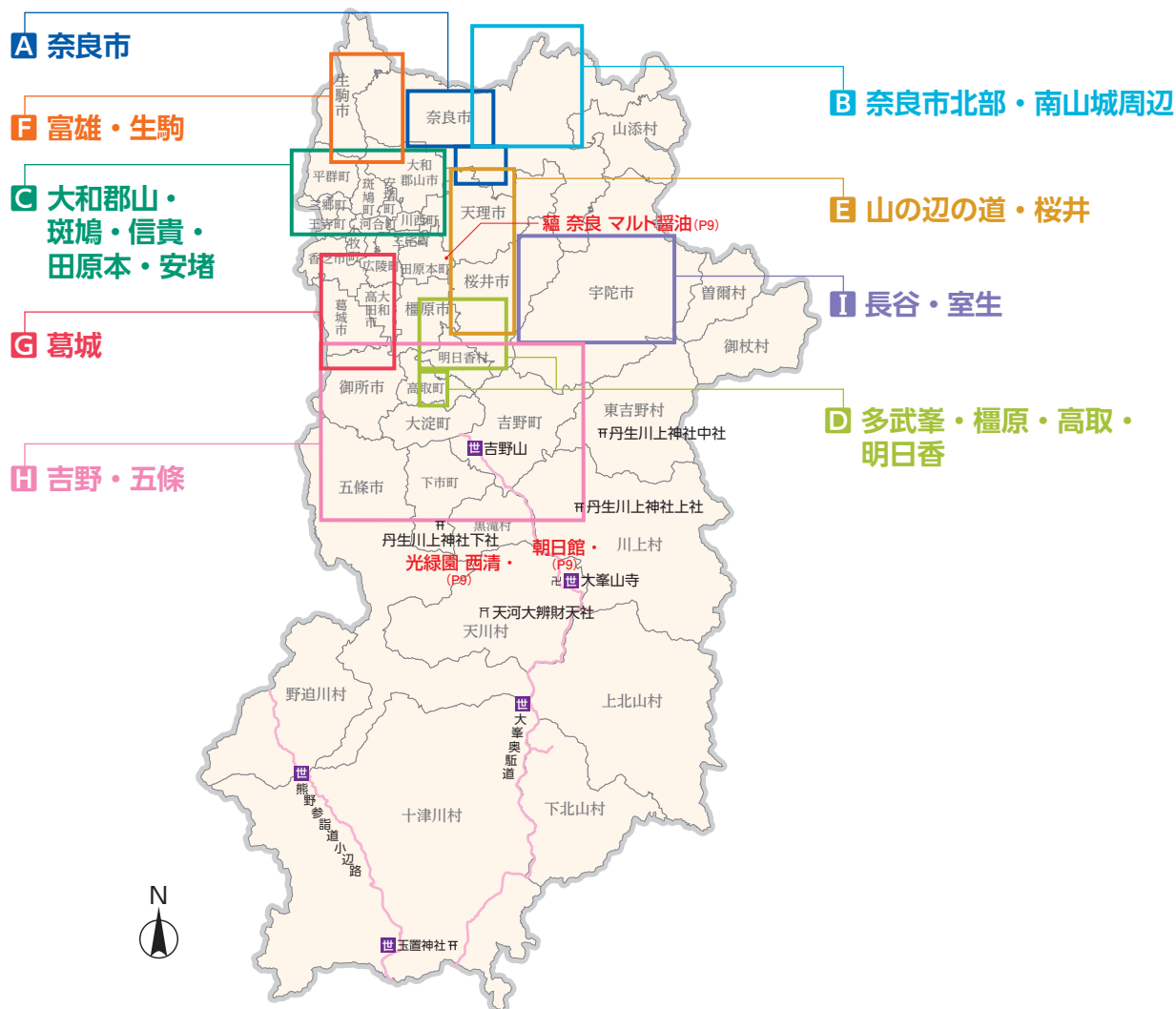
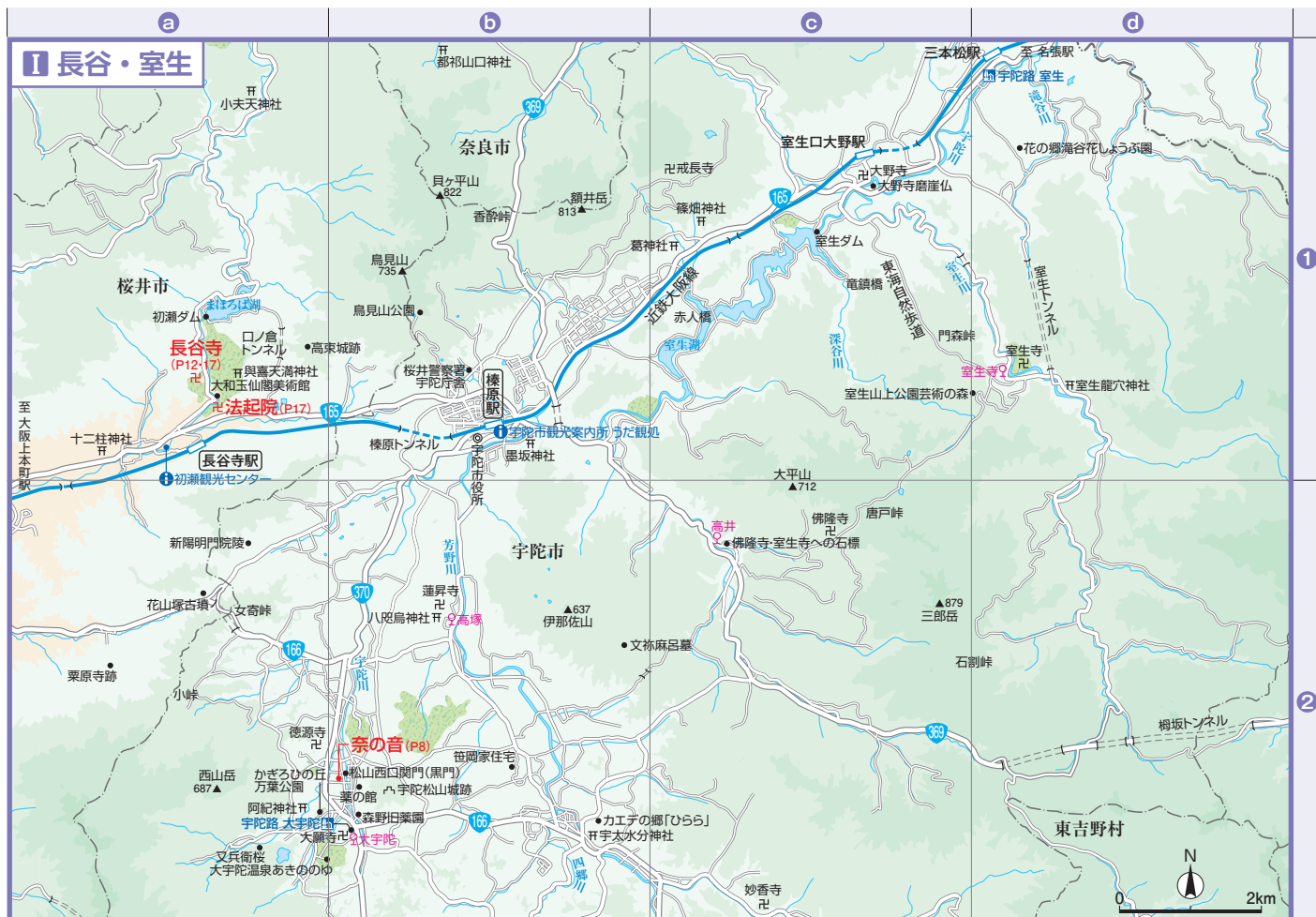
吉野山ロープウェイは、金・土・日・月曜日のみ運行（10/23(金)～11/30(月)は毎日運行）。火・水・木曜日は、ケーブル代行バスが運行。運行情報や時刻表は下記にお問い合わせ下さい。

☎ 吉野大峯ケーブル自動車線 ☎ 0746-39-0010









エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	9月	10月	11月	12月	2027年1月	2月	3月
A 奈良市	春日大社 国宝殿	P12 A d-2	開館10周年記念特別展 工芸の巨人 人間国宝 北村昭斎 一荷絵螺鈿の至宝と春日大社― ①北円堂特別開扉（国宝など）		10/3～12/13		※11月10日火休館			
	興福寺	P12 A c-2	②東金堂 夜間拝観（国宝など）	10/31、11/7、14、21、28		10/24～11/8	※午前9時～午後5時			
	福智院	P12 A c-2	宝冠十一面観音菩薩立像	10/17～10/23		11/1～11/7			3/17～3/23	
	元興寺	P12 A c-2	①板絵智光曼荼羅特別開扉（重文） ②秋季特別展「ならまちの神さま―元興寺の鎮守と町の神々―」			10/24～11/15				
	不空院	P12 A d-2	本尊・不空羂索観音菩薩坐像など（重文など）	10/17		10/24～11/9				
	五劫院	P12 A d-1	涅槃図・五劫思惟阿彌陀仏坐像（重文）			2/5～2/15	※9時～15時（要予約）			
	東大寺	P12 A d-1	①僧形八幡神坐像（勧進所八幡殿）、五劫思惟阿彌陀如来坐像（勧進所阿彌陀堂）、公慶上人坐像（公慶堂）（国宝など） ②良弁直正坐像（開山堂）、執金剛神立像（法華堂）、重原上人坐像、阿彌陀如来立像、愛染明王坐像（後乗堂）（国宝など）		10/5	※軽害会 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。				
	帯解寺	P13 A d-1	①秘仏・秘宝特別公開（重文など） ②令和9年春 秘仏公開（重文など）			11/10～11/17			2/27～3/6	
	大安寺	P13 A b-2	①本尊・十一面観音菩薩立像（重文） ②秘仏・馬頭観音菩薩立像（重文）			10/1～11/30			3/1～3/31	
	海龍王寺	P13 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展（重文など）			10/24～11/10			3/23～4/7	
	法華寺	P13 A b-1	①十一面観音菩薩立像（国宝など） ②絹本着色阿彌陀三尊および童子像（慈光殿）（国宝など）			10/24～11/10			3/20～4/7	
	不退寺	P13 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝特別展		10/1～11/30				3/1～5/31	
	正暦寺	P13 A d-1	秘仏・薬師如来倚像（重文など）	11/3～11/12	※福寿院にて、	11/13～12/6	※本堂にて	12/22	※瑠璃殿（収蔵庫にて）	
	弘仁寺	P13 A d-1	①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像 ②唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財）			11/1～11/30	（拝観は午後1時より）			
	西大寺	P13 A a-1	愛染明王坐像（愛染堂）、聚宝館特別公開（国宝）（重文など）			10/25～11/15			1/15～2/4	
	興善寺	P13 A c-2	①観経曼陀羅拜観 ②涅槃図拜観	9/20～9/26	※要予約			3/18～3/24	※要予約	
	慈眼寺	P13 A c-1	聖観世音菩薩			2/1～2/15	※要予約			
	伝香寺	P13 A c-2	本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地藏菩薩立像納入品、筒井家関連書状			2/8	※初午、3/4	※二の午		
	薬師寺	P14 A a-2	①秋の特別公開「よみがえる白鳳―金堂復興五十周年記念展―」（国宝など） ②吉祥天女画像特別公開（国宝・平成本吉祥天）（国宝）			10/24～11/8				
	喜光寺	P14 A a-2	弁天堂神影 宇賀神（秘仏）特別開扉	1/1～1/3	〔国宝〕、1/4～1/15	〔平成本吉祥天〕				
	唐招提寺	P14 A a-2	金龜舍利塔（国宝）、釈迦如来立像（重文）など《礼堂》			10/21～10/23				
B 奈良市北部・南山城周辺	東漸川観音講（応現寺）	P14 B a-2	不空羂索観音菩薩坐像（重文）	毎月第一日曜日						
	岩船寺	P14 B a-2	①秘宝秘仏特別公開 ②三重塔初層特別開扉（重文） ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり ③秘仏特別公開		10/1～11/30					
	浄瑠璃寺	P14 B a-2	①秘仏・吉祥天女立像（重文） ②三重塔初層開扉（国宝）・薬師如来坐像（重文） ※ただし好天の日に限る ③大日如来坐像など（灌頂堂）	毎月8日	10/1～11/30	10/31～11/7		1/1～1/15	1/1～1/15	
	海住山寺	P14 B a-1	①五重塔特別開扉（国宝など） ※荒天時は塔開扉中止の場合あり ②寺宝特別公開（重文など）			10/31～11/8	10/31～11/29			
	現光寺	P14 B a-1	本尊・十一面観音坐像（重文）			11/3				
	松尾寺	P14 C c-1	①舎人と太子のいる世界（世界のトルソー、舎人親王像、聖徳太子像他） ②秘仏本尊・厄除観音（厄除千手千眼観世音菩薩立像）			11/3	※9時～16時			
C 大和郡山斑鳩信貴田原本	洞泉寺 NEW	P15 C d-1	本尊「阿彌陀三尊立像」（重文）			11/7・11/8				
	浄慶寺 NEW	P15 C d-1	御本尊「阿彌陀如来坐像」（重文）			11/7・11/8				
	法隆寺	P15 C c-1	①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像（国宝） ②上御堂（釈迦三尊像）（国宝など） ③信貴山縁起絵巻特別公開「飛倉の巻」（国宝）			10/22～11/22				
	朝護孫子寺	P15 C b-2	②中秘仏毘沙門天王像御開帳 ※御所庫中はお待ちいただくこととなります ※1/1～1/3は折衝者のみの拝観、一般の方の拝観は不可			11/1～11/3	10/31～11/15			
	安養寺	P15 C d-2	阿彌陀如来立像（重文）		9/19～9/27				2/1～2/28	
	吉田寺	P15 C c-2	多宝塔（重文）開扉秘仏大日如来坐像公開			11/1～11/3			3/20～3/28	
	法輪寺	P15 C c-1	秋季特別展 妙見堂特別公開と秘仏妙見菩薩像開帳			11/1～11/8				
	慈光院	P15 C c-1	本堂天井鳴き龍					1/1～1/3		
D 多武峯福原高取明日香	聖林寺	P15 D b-1	①秘宝・マンガラ展 ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天			11/1～11/30		1/1～1/3		
	おふさ観音	P15 D a-1	①秘宝・生き人形 ②寺宝・釈迦三尊像掛け軸		～12/31		10/19～11/30			
	壺阪寺（南法華寺）	P15 D a-2	①観音大めがねくぐり ②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝 ③三重塔・多宝塔初層同時開扉			10/10～12/6	10/10～12/6			
	橘寺	P16 D a-2	聖倉殿（収蔵庫）特別公開（重文など）			10/17～11/3				
	岡寺	P16 D b-2	①本堂内々陣お屏特別開扉（重文） ②三重塔初層壁画屏絵特別公開		10/18		10/10～11/29			
E 山の辺の道・桜井	安倍文殊院	P16 E a-2	金閣浮御堂霊宝館 寺宝展（国宝など）		秋：9/1～11/30、冬：12/1～2027.2/28					
F 富雄・生駒	長岳寺	P16 E a-1	大地獄絵開帳	10/23～11/30						
	寶山寺	P16 E a-2	獅子閣（重文）			11/21～11/23				
G 葛城	靈山寺	P16 E b-2	①薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展（重文） ②三重塔初層特別開扉（重文）	10/23～11/8		11/3		1/1～1/3	※正月は薬師三尊像のみ	
	當麻寺 中之坊	P16 G a-1	①「龍游殿」村上裕二画伯大障壁画および絵天井特別公開 ②導き観音（平安時代・重要美術品） ※祈願会参加者のみ ③新春福宝展：琳賢筆「弁財天十五童子」ご開帳	毎月16日（13時30分～14時受付）			11/13～11/30		1/1～2/3	
	當麻寺 西南院	P17 G a-1	西南院本堂特別開帳（重文など）				11/21～11/30			
	當麻寺 奥院	P17 G a-1	①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開 ②大方丈襖絵特別公開 ③本尊・法然上人坐像（重文など）			11/1～11/15	11/16～11/30		2/24	
	石光寺	P17 G a-1	弥勒如来秘仏（木造）、日本最古の石仏開帳	1/1～1/31	※12/31は休み ※1日は正午から					
H 吉野五條	金峯山寺	P17 H c-2	日本最大 秘仏本尊金剛藏王大権現 特別公開（重文）			10/24～11/30				
	如意輪寺	P17 H c-2	後醍醐天皇御靈殿			11/2～11/18				
	櫻本坊	P17 H c-2	天武天皇御神像特別公開			11/7～11/15				
	榮山寺	P17 H a-2	①本尊・薬師如来坐像（重文） ②八角円堂内陣装飾画特別拝観（国宝など）			10/25～11/29	10/25～11/29			
	金剛寺	P17 H a-2	星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊					2/3		
I 長谷	長谷寺	P17 I a-1	①大和國総本山長谷寺開山1300年記念 国宝本堂特別拝観（国宝など） ②秋季特別寺宝展（宗宝藏）（重文など）			10/10～12/6	10/10～12/6			
	法起院	P17 I a-1	長谷庚申 秘仏青面金剛像		10/10～10/18					



祈りの回廊オリジナルポイントラリーWEBアプリ

スマホで巡礼+

2026年
10.1木
2027年
2.28日

「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録記念リニューアル

4つの世界遺産スタンプラリー

「スマホで巡礼」は、本誌で紹介している神社仏閣への参拝や、観光スポットへの観光の記録を残すアプリです。1スポットにつき10ptが貯まります。上記期間は50ptで1回のプレゼント応募ができます！

※ポイントラリーは繰返し参拝いただくため、何度でもチェックインが可能です

50ptを貯めて応募すると、
抽選でオリジナルサコッシュを **プレゼント!**

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

祈りの回廊特集ページ 特別企画 Wキャンペーン

キャンペーン1 奈良県内

4つの世界遺産を周遊して スタンプを同時にゲット

上記期間中、奈良県内の世界遺産スポットにチェックインすると、ポイントと同時に各世界遺産ごとの目盛り(スタンプ)が貯まります。それぞれコンプリートすると各世界遺産の「オリジナルA5クリアファイル」、4つの世界遺産で目盛りがそれぞれ2つ以上貯まると「オリジナルミニトート」を抽選でプレゼント!!

※対象スポット詳細はアプリ画面でご確認ください。4つの世界遺産スタンプラリーは、お一人さま1回の取得が可能となります。併せてスタンプラリーは、オリジナルグッズの抽選への応募もお一人さま1回となります。発送は2027年3月下旬を予定しています。

キャンペーン2 特集ページ

紹介スポットが ポイントアップ

2026年・2027年秋冬版は、特集ページに連動した特別キャンペーンとして、上記期間、P2～9に掲載したスポットは、特別に1スポットにつき30ptが貯まります。

① 飛鳥・藤原の宮都	3/9
単体でプレゼントを応募する	
① 紀伊山地の霊場と参詣道	1/5
単体でプレゼントを応募する	
① 古都奈良の文化財	3/8
単体でプレゼントを応募する	
① 法隆寺地域の仏教建造物	1/2
単体でプレゼントを応募する	

WEBアプリのご利用方法

ここから起動



起動後はブックマークに登録するか、ホーム画面に保存してご利用ください!

新規登録の流れ

アプリを起動する

左のQRコードから起動し「新規登録」をタップ!

ログインIDを登録

任意のメールアドレスとパスワードを設定します。自動送信メールが届きます。

メールで本人確認

メールの本人確認URLをタップして完了。もう一度起動画面からログインして利用開始!

※自動送信メールを迷惑メールと認識する設定がされている場合、本人確認メールが迷惑メールと判断される場合があります。メールが届かない場合は、迷惑メールをご確認ください。

【このアプリは位置情報(GPS)機能を利用します。必ず位置情報取得機能をONにしてご利用ください】

周囲の環境や通信状況、端末の性能によって、動作が不安定または不可能な場合があります。本アプリケーションのご利用に際しては、周囲の状況に注意し、お客様が利用される地域に適用する法律・慣習を遵守した常識的で適正なご利用をお願い致します。本アプリケーションの使用にしましてお客様自身または第三者に損害が生じた場合、奈良県はその賠償の責任を一切負いかねますことをご了承ください。 ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。推奨環境・iPhone iOS + Safari (ブラウザ)・Android OS + Chrome (ブラウザ) それぞれ最新バージョンでのご利用をお願いします。



『祈りの回廊』読者プレゼント!!

応募期間 2026年10月1日～2027年2月28日まで

アンケートはこちら

皆様のご感想・ご意見を今後の参考にさせていただくために本誌アンケートへのご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「祈りの回廊 オリジナルメモ帳」をプレゼント!!

【動作条件】●ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。『iOS (iPhone iPad)=Safari』『Android=Chrome』●リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、上記ブラウザをご利用ください。●上記ブラウザを使用しても正常に動作しない場合は、『シークレットモード/プライベートモードを解除』『cookieとJava scriptをオン』の状態でごアクセスいただきますようお願いいたします。

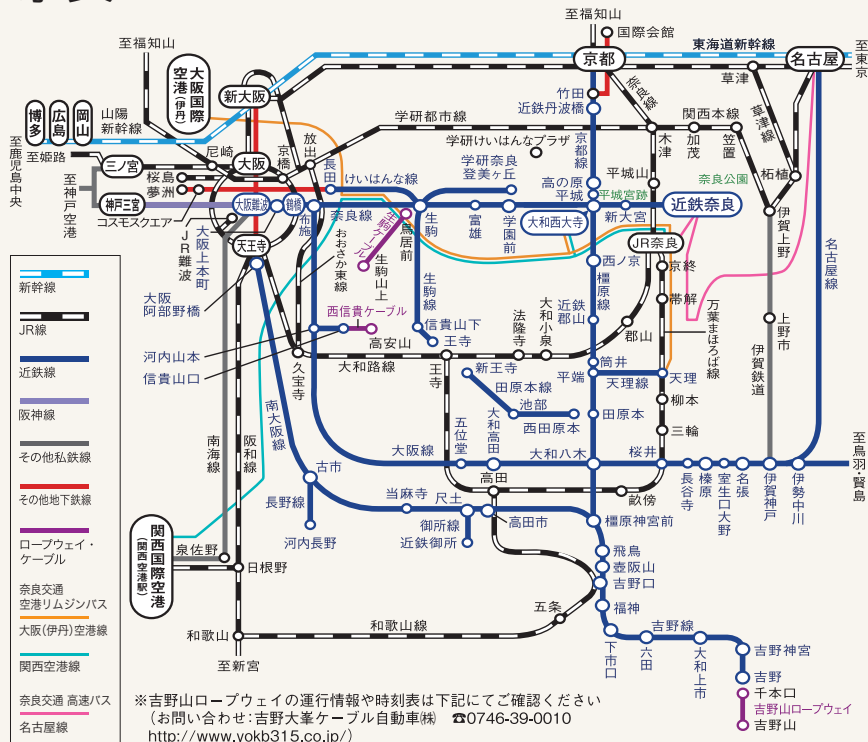
https://qlear.cloud/kspkk/inori_26akifuyu_02

抽選で 祈りの回廊
オリジナルメモ帳
プレゼント!!



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

奈良アクセスガイド



※大和路秀麗※

八十八面観音霊場の法話会

大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会は法華寺・西大寺・海龍王寺・大安寺・法輪寺・聖林寺・長谷寺・室生寺の八か寺の十一面観音菩薩を巡拝する霊場会です。令和8年秋の法話会を下記のとおり開催します。法話会にご参加いただき、十一面観音菩薩の慈悲の心を感じてください。(事前申込制、有料)



日時: 令和8年11月27日(金)

午後2時より(受付は午後1時30分より)

講師: 奈良国立博物館名誉館員、東アジア仏教文化研究所代表 西山厚先生

場所: 大安寺

参加費: 2,500円(入山料含む)

定員: 40名(先着順)

申込方法: 往復はがきに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④申込人数を明記の上、10月31日までに次の宛先までお申し込みください。
宛先: 〒630-8133奈良市大安寺2-18-1

大安寺「大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会」係宛

※復路(返信はがき)にご自身の住所・宛名を記入漏れのないよう書きください。当選のお知らせは返信はがきにいたします。
申込人数は、はがき1枚につき2人までとなります。
お申し込みは**往復はがきのみ**とさせていただきます。

●JR 西日本

奈良へは
特急「まほろば」で。

安寧 ANNEI 悠久 YUKYU

MAHORоба LIMITED EXPRESS

特急「まほろば」の
詳しい情報はここから

※画像等はすべてイメージです。

●近鉄

10th anniversary

観光特急
シンフォニー
青の交響曲
Blue Symphony
吉野、飛鳥、洞川へ

詳しくはこちら

奈良町のちょっといいところを見て知る秋の一週間

期間: 令和8年11月2日(月)～11月8日(日)

場所: 奈良町一帯

奈良町の「きたまち」「ならまち」「高畑」「京終・紀寺」という個性豊かな4エリアで、歴史的建造物、社寺、生業に関する施設など、まちの魅力となっている「ちょっといいところ」をピックアップし、普段見ることができないスポットの公開や少人数事前予約制の特別企画、まちあるきツアーなどを行います。詳しくは、奈良町見知り公式サイトをご覧ください。

問合せ先:

奈良市観光戦略課
(0742-34-5609 平日9時～17時)

奈良町見知り実行委員会
(イベント期間中のお問合せ先0742-26-3476 10時～17時)



奈良町
見知り

奈良町見知り×祈りの回廊コラボツアー とっておき奈良歩き

「奈良の不空羂索観音三仏めぐり(オリジナル案内BOOK付)」

年に一度、奈良市内の三つの不空羂索観音に参拝できる10月17日ならではのスペシャルな奈良歩きツアー。奈良町見知り実行委員長・奈良市観光大使の倉橋みどりさんが、ご案内します。ツアー参加者全員に拝観する寺院の歴史や見どころ、特別エッセイを収録した「オリジナル案内BOOK」をプレゼント

日時: 2026年10月17日(土) 12時～17時

集合場所: 近鉄奈良駅行基前広場

当日の行程: 集合場所でごあいさつ→不空院→東大寺法華堂(三月堂)→興福寺南円堂

参加費: 2,000円

(案内料、資料代、保険料など。ただし各寺院拝観料※とバス代は別途)

※参考 興福寺南円堂拝観料大人500円、不空院600円、東大寺法華堂800円

募集人数・定員: 20人(最少催行人員: 5人)

応募方法: 専用のお申し込みフォームもしくは「奈良歩き参加希望」、氏名、住所、年齢、電話番号を明記し、FAX 0742-22-9081でお申し込み。

10月8日24時締切。応募多数の場合、抽選: 10月10日までに当落を通知

お申し込みフォーム



祈りの回廊 <https://inori.nara-kankou.or.jp/> 奈良県観光[公式サイト]あをによし なら旅ネット <https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/>

奈良県観光局 地域観光課 〒630-8501 奈良市登大路町30番地 TEL:0742-27-8482 FAX:0742-27-3510

※当誌面掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。 ※本記載内容は2026年8月現在のものであり、内容が変更となる場合があります。